

第5章 地域の思いを生かした取り組み

5.1 「思い入れの場・物」の検討

「4.1.8 景観」、「4.1.9 人と自然との触れ合いの活動の場」及び「4.1.10 歴史的文化的遺産」において、山頂からの景観、レクリエーション的要素の強い人と自然との触れ合いの活動の場及び国、県、町指定の歴史的文化的遺産の検討を行ってきた。ここでは、より嘉瀬川ダム周辺の住民の視点に立った検討も必要であると考え、嘉瀬川ダム周辺の住民の視点に立ち、嘉瀬川ダム周辺の住民の思いが詰まった景観、人と自然との触れ合いの活動の場及び歴史的文化的遺産を「思い入れの場・物」として位置付け、検討を行うこととする。

また、嘉瀬川ダム周辺の住民にとっての思い入れの場・物の中には、場所や構造物を媒介としてはいるが、活動、つまり、人と人との触れ合いの活動に思い入れがある場合も考えられるので、「人と人との触れ合いの活動の場」として取り上げる。

なお、省令等の環境要素である「4.1.8 景観」等との混乱を避けるため、ここでは、思い入れの場・物のうち、景観に係るものを「思い入れの景観」、人と自然との触れ合いの活動の場に係るものを「思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場」、歴史的文化的遺産に係るものを「地域の文化的遺産」として区別している。

ここで検討を行う思い入れの場・物は、その特性上、嘉瀬川ダム工事事務所独自で取り組めるものではなく、嘉瀬川ダム周辺の住民の方々、富士町及び佐賀県が協議を行いながら、地域づくりという観点も踏まえて実施していくものであると考えている。

5.1.1 調査結果の概要

1) 調査の手法

a) 調査すべき情報

思い入れの場・物の状況を把握するため、思い入れの場・物の分布状況及び特性を調査した。

b) 調査の基本的な手法

調査の基本的な手法は、区長ヒアリング、小学生アンケート及び文献その他の資料による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析とした。

ヒアリング調査では調査地域内の各地区の区長、アンケート調査では調査地域内に位置する北山小学校の4年生～6年生を対象とした。また、現地踏査及び文献調査ではヒアリング調査及びアンケート調査により把握した思い入れの場・物の確認を行った。

c) 調査地域・調査地点

調査地域は、対象事業により移転した家屋等の移転前の集落、又は、移転後の集落周辺とした。なお、本章では、区長を中心として成り立っている集落を地区として扱うこととする。

d) 調査期間等

ヒアリング、アンケート調査の調査時期は平成14年度とし、文献その他の資料による調査は、特に限定しなかった。

調査の実施状況を表5.1-1に示す。

表 5.1-1 調査の実施状況

調査項目	調査手法	調査地域	現地調査期間等
思い入れの場・物の分布状況及び特性	ヒアリング調査、アンケート調査、現地踏査、文献調査	事業により移転した家屋等の移転前の集落、または、移転後の集落周辺	調査期間:平成 14 年度 調査時期: 平成 14 年 11 月 5 日 平成 15 年 1 月 11 日～13 日、 16 日、17 日 調査時間帯:昼間

2) 調査結果

調査結果は、図 5.1-1 に示す流れに沿って整理した。調査結果の整理の具体的な一例を図 5.1-2 に示す。なお、本報告書では、嘉瀬川ダム建設事業の影響を検討しているため、社会情勢の変化や嘉瀬川ダム以外の事業等の影響により既に消失しているものは対象外とした。

整理の方法は、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の結果をもとに、思い入れの場・物を抽出していくことになるが、その際、この後に続く、「5.1.2 予測の結果」及び「5.1.3 今後の取り組み」を見据える必要があると考え、「思い入れの場・物の特性による分類」及び「思い入れの場・物の特性を考慮した環境質による分類」により整理を行った。

「思い入れの場・物の特性による分類」では、「5.1.3 今後の取り組み」を検討する上で、思い入れの場・物を構成する重要な要素は何か、また、どんな要素に人の「思い」が依存しているのか、その対象は場所なのか、構造物なのか、行為なのかということ把握することで、住民の思いを有形、無形の形でとらえることが可能となり、「5.1.3 今後の取り組み」を検討する上での判断材料の一つになると考えた。

また、「思い入れの場・物の特性を考慮した環境質による分類」では、住民の「思い」を環境質でとらえることで、改変又は消失、存続等の予測が可能になると考えた。

なお、ここでは、思い入れの場・物の内容を示す際に、環境影響評価法、関係法令及び条例における環境要素と区別するために、環境質という用語を用いた。この環境質は、表 5.1-2 に示す 4 つとし、景観に該当するものを「思い入れの景観」、人

と自然との触れ合いの活動の場に該当するものを「思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場」、歴史的文化的遺産に該当するものを「地域の文化的遺産」、さらに、環境影響評価法等では定められていないが人と人との触れ合いの活動の場という観点も思い入れの場・物であると考え、「人と人との触れ合いの活動の場」とした。

表 5.1-2 環境質

環境要素	環境質	対象とするもの
思い入れの場・物	思い入れの景観	思い入れの場・物のうち、景観に該当するもの
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	思い入れの場・物のうち、人と自然との触れ合いの活動の場に該当するもの
	人と人との触れ合いの活動の場	思い入れの場・物のうち、人と人との触れ合いの活動の場に該当するもの
	地域の文化的遺産	思い入れの場・物のうち、歴史的文化的遺産に該当するもの

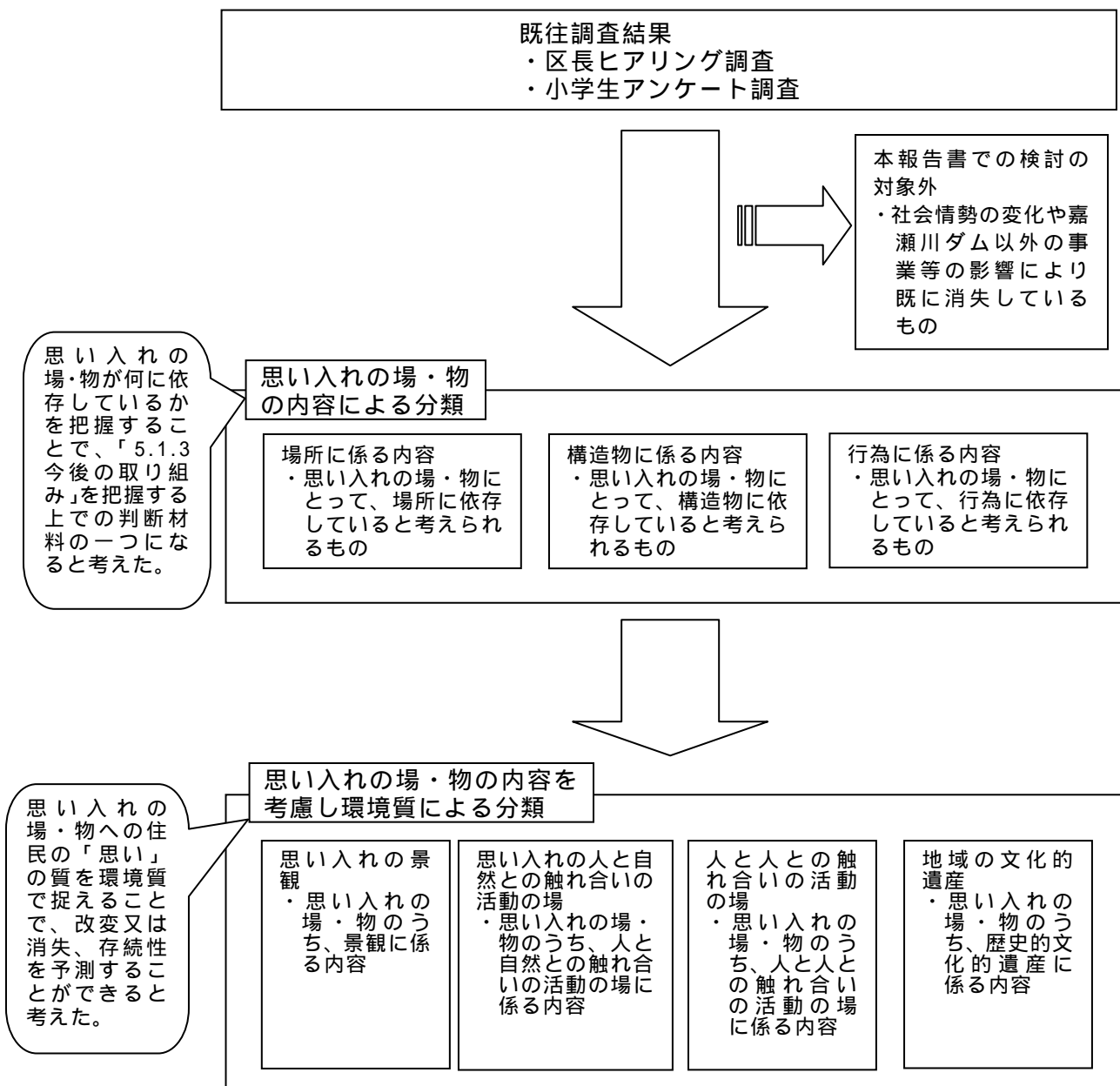
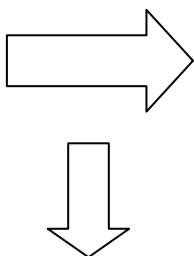


図 5.1-1 調査結果の整理の流れ

区長ヒアリング調査、小学生アンケート調査の結果

- ・ 楠神社では、10月15日に豊作を祝う御供日祭り(大祭り)が行われている。
- ・ 楠神社の近くの川では蛭が見られる。またかつてはよく川遊びを行っていた。
- ・ 地区の人は初参りには楠神社でおまいりをする。
- ・ 菖蒲地区で区域の人々の思いが一番ある場所は、眼鏡橋である。集落への玄関口にも位置する。かつて、眼鏡橋を作ったころは、集落の人はかなりの寄付を行っていたであろうし、橋の建設にかなりの協力を行っていた。今回のダム建設により、眼鏡橋の橋のたもと辺りまで水につかってしまう。崩れないかどうか心配である。集落としては、県道と付け替え道路に眼鏡橋の移設を希望している。
- ・ 観音様で8月18日にお祭りがある。観音様は女性の守り神である。サラダ、ゼリー等を作る。4つの古賀(4から5戸からなる)で昼に集まり夜に公民館に移動する。女性だけの祭りである。
- ・ 観音様の横には、箱があり、前かけのようなものが入っており、妊婦の時にとりに行き、出産の後、返しに行き、お参りをする。
- ・ 土捨場の造成により、楠神社前の河川の付け替えも行われる。現在生息している生物がどうなるのかが不安である。河川沿いの桜もどうなるのであろう。河川は、自然石を置き、また水のたまる場所も設け、なるべく現在の状況が残るようにしたい。
- ・ 荘源院は、かつて水害があり、その時に周りの木々も流されてしまっている。鎮守の森などは残っていない。
- ・ 楠神社は、楠木正成由来の神社である。本堂が老朽化しており、立て替えようか検討中である。
- ・ 地区内の協力や地区外との交流で一番大きな行事は菖蒲ご膳である。今回のダム関係において、毎回開催場所として利用している公民館の移設の問題等があるが、今後も続けていきたいと考えている。
- ・ 菖蒲ご膳の食材はすべて菖蒲地区内で作られたものや採ったものである。
- ・ 8月には、公民館の外で菖蒲夏祭りが行われる。盆踊りや焼肉、山菜料理等で楽しむ。菖蒲ご膳は、リピーターの方も多く、夏祭りも菖蒲ご膳参加者の方も招待している。地区外の方も呼んでいる。
- ・ 地区内地区外との交流は、菖蒲ご膳を中心として、そのつながりから、広がっていている。



対象外(社会情勢等、ダム事業以外の影響により消失)

< 荘源院 >

- ・ 荘源院は、かつて水害があり、その時に周りの木々も流されてしまっている。鎮守の森などは残っていない。

< 川遊び(楠神社の近くの川) >

- ・ 昔は、川遊びが盛んであった。

思い入れの場・物の特性による分類

場所

- ・ 菖蒲川の楠神社近くの水辺
- ・ かつちゃ石

構造物

- ・ 楠神社
- ・ 眼鏡橋
- ・ 観音様
- ・ 菖蒲公民館

行為

- ・ 蛭や桜との触れ合い
- ・ 御供日祭り(楠神社)
- ・ 建設時の協力(眼鏡橋)
- ・ お祭り(観音様)
- ・ 菖蒲ご膳(菖蒲公民館)
- ・ 菖蒲夏祭り(菖蒲公民館)
- ・ 地区内外との交流(菖蒲公民館)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境質による分類

思い入れの景観

- ・ 主要な眺望点
- ・ 景観資源
- ・ 主要な眺望景観

- ・ 該当なし

思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場

- ・ 菖蒲川の楠神社近くの水辺

人と人との触れ合いの活動(の場)

- ・ 御供日祭り(楠神社)
- ・ 建設時の協力(眼鏡橋)
- ・ お祭り(観音様)
- ・ 菖蒲ご膳(菖蒲公民館)
- ・ 菖蒲夏祭り(菖蒲公民館)
- ・ 地区内外との交流(菖蒲公民館)

地域の文化的遺産

(公民館以外の有形物)

- ・ かつちゃ石
- ・ 楠神社
- ・ 眼鏡橋
- ・ 観音様

図 5.1-2 調査結果の整理の具体的な例(菖蒲地区の場合)

図 5.1-1 に示す方法により整理した結果を表 5.1-3～13 に示す。なお、表番号の(1)は図 5.1-1 の「思い入れの場・物の特性による分類」に該当するものを示し、表番号の(2)は図 5.1-1 の「思い入れの場・物の特性を考慮した環境質による分類」に該当するものを示す。

表 5.1-3(1) 調査結果(東畑瀬地区)(1/2)

思い入れの場・物の特性による分類		理由
場所	権現山	<p>国道 323 号の西畑瀬側から、権現山を見る眺めが良かった。映画「男はつらいよ ぼくの伯父さん」、「水の旅人 侍 KIDS」のロケに使われた。集落内からも権現山が見える。</p> <p>印象に残る風景は、橋の付近から豊富宮、その裏の鎮守の森とその背後の権現山を眺めた景色である。</p>
	天神杉(天神様)	<p>あなた権現は天神様を祀る。天神杉の所に同じ祠がある。祠の中では新しい祠である。</p> <p>天神杉は佐賀県の名木・古木として指定されており、樹齢 500 年である。</p>
構造物	豊富宮(東畑瀬)	<p>国道 323 号の西畑瀬側から、東畑瀬の豊富宮を見る眺めが良かった。</p> <p>印象に残る風景は、橋の付近から豊富宮、その裏の鎮守の森とその背後の権現山を眺めた景色である。</p> <p>12 月 17 日に秋祭りがある。しめ縄を取り替える。3 月 17 日にカンコロ(大根を加工したもの)祭りがあった。17 日に特別な意味があるかどうかは分からない。移転後も引き続き行われている。</p> <p>9 月 1 日に豊富宮の祇園祭りがあった。</p> <p>昔は、テレビ、テレビゲームがなく、娯楽がなかったので、祭りが中心だった。</p> <p>豊富宮は集落の守り神である。集落の人は必ずおまいりに行く。境内には遊具が作られていた。</p> <p>豊富宮を中心とした鎮守の森があった。</p>
	豊富宮(東山田)	<p>豊富宮は移転して、東山田にある。鳥居は移築、神殿は新築した。鳥居の石柱は、石をつなぎ合わせて作った。</p> <p>移転した豊富宮を中心に、東畑瀬から東山田に移転してきた人で集まることはあるが、祭りはやっていない。</p> <p>豊富宮に集まるのは、東畑瀬から東山田に移転してきた 22 戸だけ。</p>
	毘沙門堂	<p>8 月 3 日に祇園祭り(夏祭り)があった。昭和 47 年あたりから、23 年間続いた。</p> <p>祇園は毘沙門堂にあり、ここが子供たちのこままわし等を行う遊び場だった。でも鎮守の森ではない。</p> <p>この祇園は、祠と一緒に、東畑瀬の東側の付替町道沿いに移転される予定である。</p>

表 5.1-3(1) 調査結果(東畑瀬地区)(2/2)

思い入れの場・物の特性 による分類	理由
(構造物)	白山神社(権現山) 権現山には、白山神社がある。白山神社から、豊富宮等が分祀された。
	あなた権現(権現山) あなた権現は天神様を祀る。天神杉の所に同じ祠がある。祠の中では新しい祠である。
	畑瀬神社(西畑瀬) 畑瀬大明神の石柱は、一本柱である。 畑瀬大明神は西畑瀬に属する。 国道 323 号の西畑瀬側から、畑瀬大明神を見る眺めが良かった。
	神代(くまじろ)の墓 神代勝利の墓は毘沙門堂の祠と一緒に移転する。
	東畑瀬公民館 豊富宮で祭りをして、その後公民館で宴会をやった。 今は、共同作業(道路掃除、下草刈等)が減ったので、集まる機会は減ってきている。集まった後は公民館で飲み会を行い、その後、2 次会、3 次会と集落の個人のお宅で実施していた。
	東山田公民館 東山田には全部で 40 戸あり、40 戸で公民館を作った。
行為	秋祭り、カンコ祭り、祇園祭り(豊富宮(東畑瀬)) 12 月 17 日に秋祭りがある。しめ縄を取り替える。3 月 17 日にカンコ(大根を加工したもの)祭りがあった。17 日に特別は意味があるかどうかは分からない。移転後も引き続き行われている。 9 月 1 日に豊富宮の祇園祭りがあった。 昔は、テレビ、テレビゲームがなく、娯楽がなかったので、祭りが中心だった。 集落の守り神である。集落の人は必ずおまいりに行く。境内には遊具が作られていた。 豊富宮を中心とした鎮守の森があった。
	交流(豊富宮(東山田)) 豊富宮は移転して、東山田にある。鳥居は移築、神殿は新築した。鳥居の石柱は、石をつなぎ合わせて作った。 移転した豊富宮を中心に、東畑瀬から東山田に移転してきた人で集まることはあるが、祭りはやっていない。 豊富宮に集まるのは、東畑瀬から東山田に移転してきた 22 戸だけ。
	祇園祭り、遊び場(毘沙門堂) 8 月 3 日に祇園祭り(夏祭り)があった。昭和 47 年あたりから、23 年間続いた。 祇園は毘沙門堂にあり、ここが子供たちのこままわし等を行う遊び場だった。でも鎮守の森ではない。 この祇園は、祠と一緒に、東畑瀬の東側の付替町道沿いに移転する予定である。
	宴会(東畑瀬公民館) 豊富宮で祭りをして、その後公民館で宴会をやった。 今は、共同作業(道路掃除、下草刈など)が減ったので、集まる機会は減ってきている。集まった後は公民館で飲み会を行い、その後、2 次会、3 次会と集落の個人のお宅で実施していた。
	協力(東山田公民館) 東山田には全部で 40 戸あり、40 戸で公民館を作った。

表 5.1-3(2) 調査結果(東畑瀬地区)(1/3)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境質による分類		理由
思い入れの景観	主要な眺望点(A)	
	景観資源(B)	
	主要な眺望景観	(A)国道 323 号の西畑瀬側及び集落内 (B)権現山 国道 323 号の西畑瀬側から、権現山を見る眺めが良かった。 映画「男はつらいよ ぼくの伯父さん」、「水の旅人侍 KIDS」のロケに使われた。 集落内からも権現山が見える。
	主要な眺望景観	(A)橋付近 (B)豊富宮、鎮守の森及び権現山 印象に残る風景は、橋の付近から豊富宮、その裏の鎮守の森とその背後の権現山を眺めた景色
	主要な眺望景観	(A)国道 323 号の西畑瀬側 (B)豊富宮(東畑瀬) 国道 323 号の西畑瀬側から、東畑瀬の豊富宮を見る眺めが良かった。 (A)国道 323 号の西畑瀬側 (B)畑瀬神社 国道 323 号の西畑瀬側から、畑瀬大明神を見る眺めが良かった。
思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場		
人と人との触れ合いの活動の場	秋祭り カンコロ祭り 祇園祭り (豊富宮(東畑瀬)) 12月17日に秋祭りがある。しめ縄を取り替える。3月17日にカンコロ(大根を加工したもの)祭りがあった。17日に特別な意味があるかどうかは分からない。移転後も引き続き行われている。 9月1日に豊富宮の祇園祭りがあった。 昔は、テレビ、テレビゲームがなく、娯楽がなかった。祭りが中心だった。 集落の守り神である。集落の人は必ずおまいりに行く。境内には遊具が作られていた。 豊富宮を中心とした鎮守の森。	

表 5.1-3(2) 調査結果(東畑瀬地区)(2/3)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境質による分類		理由
(人と人との 触れ合いの 活動の場)	交流 (豊富宮(東山田))	豊富宮は移転して、東山田にある。鳥居は移築、神殿は新築した。鳥居の石柱は、石をつなぎ合わせて作った。 移転した豊富宮を中心に、東畑瀬から東山田に移転してきた人で集まることはあるが、祭りはやっていない。 豊富宮に集まるのは、東畑瀬から東山田に移転してきた22戸だけ。
	祇園祭り (毘沙門堂)	8月3日に祇園祭り(夏祭り)があった。昭和47年あたりから、23年間続いた。 祇園は毘沙門堂にあり、ここが子供たちのこままわし等を行う遊び場だった。でも鎮守の森ではない。 この祇園は、祠と一緒に、東畑瀬の東側の付替町道沿いに移転する予定である。
	宴会 (東畑瀬公民館)	豊富宮で祭りをして、その後公民館で宴会をやった。 今は、共同作業(道路掃除、下草刈等)が減ったので、集まる機会は減ってきている。集まった後は公民館で飲み会を行い、その後、2次会、3次会と集落の個人のお宅で実施していた。
	協力 (東山田公民館)	東山田には全部で40戸あり、40戸で公民館を作った。
地域の文化的遺産	豊富宮 (東畑瀬)	12月17日に秋祭りがある。しめ縄を取り替える。3月17日にカンコロ(大根を加工したもの)祭りがあった。17日に特別は意味があるかどうかは分からない。移転後も引き続き行われている。 9月1日に豊富宮の祇園祭りがあった。 昔は、テレビ、テレビゲームがなく、娯楽がなかった。祭りが中心だった。 集落の守り神である。集落の人は必ずおまいりに行く。境内には遊具が作られていた。 豊富宮を中心とした鎮守の森があった。
	豊富宮 (東山田)	豊富宮は移転して、東山田にある。鳥居は移築、神殿は新築した。鳥居の石柱は、石をつなぎ合わせて作った。 移転した豊富宮を中心に、東畑瀬から東山田に移転してきた人で集まることはあるが、祭りはやっていない。 豊富宮に集まるのは、東畑瀬から東山田に移転してきた22戸だけ。

表 5.1-3(2) 調査結果(東畑瀬地区)(3/3)

思い入れの場・物の特性を考慮した 環境質による分類		理由
地域の文化的 遺産	毘沙門堂	8月3日に祇園祭り(夏祭り)があった。昭和47年あたりから、23年間続いた。 祇園は毘沙門堂にあり、ここが子供たちのこままし等を行う遊び場だった。でも鎮守の森ではない。 この祇園は、祠と一緒に、東畑瀬の東側の付替町道沿いに移転する予定。
	白山神社(権現山)	権現山には、白山神社がある。白山神社から、豊富宮等が分祀された。
	あなた権現(権現山)	あなた権現は天神様を祀る。天神杉の所に同じ祠がある。祠の中では新しい祠である。
	畑瀬神社(西畑瀬)	畑瀬大明神の石柱は、一本柱である。 畑瀬大明神は西畑瀬に属する。 国道323号の西畑瀬側から、畑瀬大明神を見る眺めが良かった。
	天神杉 (天神様)	あなた権現は天神様を祀る。天神杉の所に同じ祠がある。祠の中では新しい祠である。 天神杉は佐賀県の名木・古木として指定されており、樹齢500年である。
	神代勝利の墓	神代勝利の墓は毘沙門堂の祠と一緒に移転する。

表 5.1-4(1) 調査結果(西畑瀬地区)(1/2)

思い入れの場・物の特性による分類		理由
場所	権現山	・西畑瀬代替地に移転して、今まで権現山を下から眺めていたが、今は横から眺めるよう視線が変わった。昔の人は、日の出の時に、東に位置する権現山に向かい拝んでいた。西畑瀬代替地に移転した人も、権現山が見えるところに住みたいという気持ちもあったのだろう。
構造物	畑瀬神社(白鬚神社)	・畑瀬神社のことを白鬚神社と呼んでいた。畑瀬神社については、8名からなる西畑瀬共有財産管理委員会を中心として、移設の準備が進められた。検討の結果、御神体と門は移設することになった。移転先は湯の里(小副川地区)代替地である。 ・畑瀬集落の人は移転前は初参りは畑瀬神社に行っていた。12月15日に近い土日に大祭りが開催されていた。来年からは湯の里代替地で行われるであろう。畑瀬代替地の氏子は25戸として残る。
	畑瀬神社(湯の里代替地)	・湯の里代替地に畑瀬神社が移転されて、移転先の今までのコミュニティと、新たなコミュニティが作られ、その間で話し合いが必要となるであろう。移設されたお宮等が新たなより所となるであろう。
	八幡神社	・八幡神社は西畑瀬代替地に移転予定である。 ・八幡神社では、2月11日に豊作を願う祭りが行われる。今年までは25戸の氏子である。 ・八幡神社の周辺は鎮守の森というよりも、もともと山の中にあり、木々に囲まれている神社である。お彼岸、お盆、正月、大祭りの時に清掃作業を行う。
	恵泉寺	・恵泉寺が西畑瀬代替地に移転した理由は、檀家の方々から近くにしてほしいという意見が出たためである。恵泉寺は西畑瀬地区以外の方々の檀家もいる(菖蒲地区等)。檀家は、134、5戸である。
	西畑瀬公民館	・地区のお祭りは、5戸が当番となり、逆時計回りで当番が回ってくる。当番はしめ縄づくりなどを行った。お祭りの後は公民館でみんなで飲んだり食べたりした。
	初参り・大祭り(畑瀬神社)	・畑瀬神社のことを白鬚神社と呼んでいた。畑瀬神社については、8名からなる西畑瀬共有財産管理委員会を中心として、移設の準備が進められた。検討の結果、御神体と門は移設することになった。移転先は湯の里(小副川地区)代替地である。 ・畑瀬集落の人は移転前は初参りは畑瀬神社に行っていた。12月15日に近い土日に大祭りが開催されていた。来年からは湯の里代替地で行われるであろう。西畑瀬代替地の氏子は25戸として残る。
行為	新たなコミュニティ(畑瀬神社(湯の里代替地))	・湯の里代替地に畑瀬神社が移転されて、移転先の今までのコミュニティと、新たなコミュニティが作られ、その間で話し合いが必要となるであろう。移設されたお宮等が新たなより所となるであろう。
	交流(西畑瀬公民館)	・地区のお祭りは、5戸が当番となり、逆時計回りで当番が回ってくる。当番はしめ縄づくりなどを行った。お祭りの後は公民館でみんなで飲んだり食べたりした。

表 5.1-4(1) 調査結果(西畑瀬地区)(2/2)

思い入れの場・物の特性 による分類		理由
(行為)	お彼岸、お盆、 正月、大祭りの 時の清掃作業 (八幡神社)	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡神社は西畑瀬代替地に移転予定である。 ・八幡神社では、2月11日に豊作を願う祭りが行われる。今年までは25戸の氏子である。 ・八幡神社の周辺は鎮守の森というよりも、もともと山の中であり、木々に囲まれている神社である。お彼岸、お盆、正月、大祭りの時に清掃作業を行う。
	移転先に手伝い に行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、もとの西畑瀬地区に住んでいた人が移転先で亡くなった場合、移転先に手伝いに行っている。今後も2~3年ぐらいはこういったことは継続されるであろう。

表 5.1-4(2) 調査結果(西畑瀬地区)(1/2)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境 質による分類		理由
思い入れの 景観	主要な眺望 点(A)	
	景観資源(B)	
	主要な眺望 景観 (A) 西畑瀬代替地 (B) 権現山	西畑瀬代替地に移転して、今まで権現山を下から眺めていたが、今は横から眺めるよう視線が変わった。昔の人は、日の出の時に、東に位置する権現山に向かい拝んでいた。西畑瀬代替地に移転した人も、権現山が見えるところに住みたいという気持ちもあったのだろう。
思い入れの人と 自然との触れ合 いの活動の場		
人と人との触れ 合いの活動の場	初参り・大祭り (畑瀬神社)	畑瀬神社のことを白鬚神社と呼んでいた。畑瀬神社については、8名からなる西畑瀬共有財産管理委員会を中心として、移設の準備が進められた。検討の結果、御神体と門は移設することになった。移転先は湯の里(小副川地区)代替地である。 畑瀬集落の人は移転前は初参りは畑瀬神社に行っていた。12月15日に近い土日に大祭りが開催されていた。来年からは湯の里代替地で行われるであろう。西畑瀬代替地の氏子は25戸として残る。
	新たなコミュニティ (畑瀬神社(湯の里代 替地))	湯の里代替地に畑瀬神社が移転されて、移転先の今までのコミュニティと、新たなコミュニティが作られ、その間で話し合いが必要となるであろう。移設されたお宮等が新たなより所となるであろう。
	交流 (西畑瀬公民館)	地区のお祭りは、5戸が当番となり、逆時計回りで当番が回ってくる。当番はしめ縄づくりなどを行った。お祭りの後は公民館でみんなで飲んだり食べたりした。
	お彼岸、お盆、正月、 大祭りの時の清掃作 業 (八幡神社)	八幡神社は西畑瀬代替地に移転予定である。 八幡神社では、2月11日に豊作を願う祭りが行われる。今年までは25戸の氏子である。 八幡神社の周辺は鎮守の森というよりも、もともと山の中にあり、木々に囲まれている神社である。お彼岸、お盆、正月、大祭りの時に清掃作業を行う。
	移転先に手伝いに行っている	現在は、もとの西畑瀬地区に住んでいた人が移転先で亡くなられた場合、移転先に手伝いに行っている。今後も2~3年ぐらいはこういったことは継続されるであろう。

表 5.1-4(2) 調査結果(西畑瀬地区)(2/2)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境 質による分類	理由	
地域の文化的 遺産	畑瀬神社 (白鬚神社)	畑瀬神社のことを白鬚神社と呼んでいた。畑瀬神社については、8名からなる西畑瀬共有財産管理委員会を中心として、移設の準備が進められた。検討の結果、御神体と門は移設することになった。移転先は湯の里(小副川地区)代替地である。畑瀬集落の人は移転前は初参りは畑瀬神社に行っていた。12月15日に近い土日が大祭りが開催されていた。来年からは湯の里代替地で行われるであろう。西畑瀬代替地の氏子は25戸として残る。
	八幡神社	八幡神社は西畑瀬代替地に移転予定である。八幡神社では、2月11日に豊作を願う祭りが行われる。今年までは25戸の氏子である。八幡神社の周辺は鎮守の森というよりも、もともと山の中にあり、木々に囲まれている神社である。お彼岸、お盆、正月、大祭りの時に清掃作業を行う。
	恵泉寺	恵泉寺が西畑瀬代替地に移転した理由は、檀家の方々から近くにしてほしいという意見が出たためである。恵泉寺は西畑瀬地区以外の方々の檀家もいる(菖蒲地区等)。檀家は、134、5戸である。

表 5.1-5(1) 調査結果(栗並地区)

思い入れの場・物の特性 による分類		理由
場所	夫婦石	夫婦石祭りが風祭りと同じ9月に開催される。
構造物	子安神社	1月4日に元始祭(新年会)、9月1日に風祭(台風からの被害を懸念した祭り)、12月12日に丑の日祭り(豊作を願う)がある。 子安神社は移設予定である。今の神社の近く、標高の高いところに移設。神殿はそのまま移築する予定。現在の宮大工では、建設は無理であろう。拝殿は作り直すかどうか協議中である。 鳥居や灯籠はそのまま移設する。 集落の中では子安神社がもっとも印象的なもの。神社は石垣、石橋、古木、神殿がセットになり、ひとつの風景を構成している。 樹林が遊び場、広場で野球や太っこをする(広くていろんな遊びができるから)。 友達と遊ぶ(遊ぶことができるから)。
	子安神社のほこらやぶ神様	ほこらは現在、子安神社の境内(階段を上った左側)に置かれている。昔は集落内にバラバラ置かれていたが、今は、子安神社に移設されている。
	昭安橋	橋は架け替えるなどは行わず、現在のままである。よって今回のダム事業により水没されることになる。地区住民は移設を願っている。 集落の中では子安神社がもっとも印象的なもの。神社は石垣、石橋、古木、神殿がセットになり、ひとつの風景を構成している。
	豊前坊様(石祠)	馬場古にはもともと13、14戸あった。現在は、ほとんど移転してしまったため、豊前坊祭りは今は行っていない。集落の人はばらばらに移転していった。 タメシ(酒占い)
	三光寺	観音堂がありお祭りがある。
	森林(子安神社)で遊ぶ	樹林が遊び場、広場で野球や太っこをする(広くていろんな遊びができるから)。 友達と遊ぶ(遊ぶことができるから)。
行為	豊前坊祭り	馬場古にはもともと13、14戸あった。現在は、ほとんど移転してしまったため、豊前坊祭りは今は行っていない。集落の人はばらばらに移転していった。 タメシ(酒占い)
	夫婦石祭り	夫婦石祭りが風祭りと同じ9月に開催される。
	太鼓の会	集落の若い人からお年寄りまで20人~25人程度、太鼓の会を作っており、集落外から先生をお呼びして、練習に励んでいる。演奏は集落外にも呼ばれ、例えば、古湯温泉の吉花亭に演奏に行ったりしている。

表 5.1-5(2) 調査結果(栗並地区)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境 質による分類		理由
思い入れの 景観	主要な眺望 点	
	景観資源	子安神社 集落の中では子安神社がもっとも印象的なもの。神社は石垣、石橋、古木、神殿がセットになり、ひとつの風景を構成している。
		昭安橋 集落の中では子安神社がもっとも印象的なもの。神社は石垣、石橋、古木、神殿がセットになり、ひとつの風景を構成している。 橋は架け替えが行われず、現在のままである。よって今回のダム事業により水没されることになる。地区住民は移設を願っている。
主要な眺望 景観		
思い入れの人と 自然との触れ合 いの活動の場	子安神社	樹林が遊び場、広場で野球や太っこをする。(広くていろいろな遊びができるから。) 友達と遊ぶ(遊ぶことができるから)。
人と人との触れ 合いの活動の場	元始祭り、風祭り、 丑の日祭り (子安神社)	1月4日 元始祭(集落の新年会)、9月1日 風祭(台風からの被害を懸念した祭り)、12月12日 丑の日祭り(豊作を願う)がある。
	お祭り(三光寺)	観音堂がありお祭りがある。
	豊前坊祭り (豊前坊様)	馬場古にはもともと 13、14 戸あった。現在は、ほとんど移転してしまっただけ、豊前坊祭りは今は行っていない。集落の人はばらばらに移転していった。 タメシ(酒占い)
	夫婦石祭り (夫婦石)	夫婦石祭りが風祭りと同じ9月に開催される。
	太鼓の会	集落の若い人からお年寄りまで 20 人～25 人程度、太鼓の会を作っており、集落外から先生をお呼びして、練習に励んでいる。演奏は村落外にも呼ばれ、例えば、古温泉の吉花亭に演奏に行ったりしている。
地域の文化的遺 産	子安神社	1月4日 元始祭(集落の新年会)、9月1日 風祭(台風からの被害を懸念した祭り)、12月12日 丑の日祭り(豊作を願う)がある。
	昭安橋	集落の中では子安神社がもっとも印象的なもの。神社は石垣、石橋、古木、神殿がセットになり、ひとつの風景を構成している。 橋は架け替えるなどは行わず、現在のままである。よって今回のダム事業により水没されることになる。地区住民は移設を願っている。
	夫婦石	夫婦石祭りが風祭りと同じ9月に開催される。
	三光寺	観音堂がありお祭りがある。

表 5.1-6(1) 調査結果(大串地区)(1/2)

思い入れの場・物の特性 による分類		理由
場所	棚田	大串地区方面を栗並地区からみた大串川背後の景色が「棚田 100 選」に選ばれた。 棚田 100 選に選ばれた棚田は水没から免れる。
	湿原	大串の峠の上(七山村へ向かう途中)が湿原になっており、美しい。
	大串の浦川橋からみる山	大串のうらかわばしからみる山をながめていると山の形がなんかおもしろい形に見えてくる。
構造物	櫛田神社	大串集落の人々は、1月4日に櫛田神社をお参りし、その後、公民館で飲んだり食べたりしている。これは、現在も続けられている。
	大串公民館	現在、日常的な集落内での交流も、公民館を基本に行われている。 人が来なくて静か。お祭りなどが行われるから。
	大権現	12月7日に大権現で祭りがある。集落内の無病息災を願い、川に裸で二人の亭主前と神主が入る。 すわってまわりのけしきをみる。あるく。
	上古賀と下古賀の弁財天	弁財天祭 上古賀(山野上)と下古賀(大木の上)に別れて行く、大木の下で祀るお祭りである。豊作を願う。
	早馬様	早馬様祭り。未来を占う占いである。つぼでご飯を炊く。色により将来を占う。
	大串集落北西部の山の上の祠	大串集落北西部の山の上に祠がある。佐賀方面まで眺望が開けている。 5月2日に弁天様祭りが行われている。集落の人たちで料理を作り、みんなで飲み食べする。
	河川プール	水遊び、遊び場、楽しいから。
	光照寺	土曜学校、お正月などに行く。
行為	水遊び(河川プール)	水遊び、遊び場、楽しいから。
	弁財天祭り(上古賀と下古賀の弁財天) 弁天様祭り(大串集落北西部の山の上の祠)	弁財天祭 上古賀(山野上)と下古賀(大木の上)に別れて行く、大木の下で祀るお祭りである。豊作を願う。 祠では、5月2日に弁天様祭りが行われている。集落の人たちで料理を作り、みんなで飲み食べする。
	お参り(櫛田神社)	大串集落の人々は、1月4日に櫛田神社をお参りし、その後、公民館で飲んだり食べたりしている。これは、現在も続けられている。
	交流(大串公民館)	現在、日常的な集落内での交流も、公民館を基本に行われている。 (駐車場で)友達とときどきあそぶ。 日なたぼっこ、ひるね、音楽をきく、マンガを読む。 お祭りなどが行われるから。
	お祭り(大権現) 早馬様祭り(早馬様)	12月7日に大権現で祭りがある。集落内の無病息災を願い、川に裸で二人の亭主前と神主が入る。 早馬様祭り。未来を占う占いである。つぼでご飯を炊く。色により将来を占う。

表 5.1-6(1) 調査結果(大串地区)(2/2)

思い入れの場・物の特性 による分類		理由
(行為)	立石祭り	3月1日に立石祭りを行っている。これは、集落内の立石の苗字の方々によるお祭りである。現在も続けられているが、祭りの中心的な人が移転してしまったため、少し祭りの勢いに影響がある。
	七夕	七夕は子供たちを中心として行う。
	水遊び(河川プール)	水遊び、遊び場、楽しいから。
	土曜学校、お参り(光照寺)	土曜学校、お正月などに行く。

表 5.1-6(2) 調査結果(大串地区)(1/2)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境質による分類			理由
思い入れの景観	主要な眺望点(A)	大串集落北西部の山の上の祠	大串集落北西部の山の上に祠がある。佐賀方面まで眺望が開けている。
	景観資源(B)	棚田	大串地区方面を栗並地区からみる大串川背後の景色が「棚田 100 選」に選ばれた。 棚田 100 選に選ばれた棚田は水没から免れる。
		湿原	大串の峠の上(七山村へ向かう途中)が湿原になっており、美しい。
	主要な眺望景観	(A)大串の浦川橋 (B)山	すわってまわりのけしきをみる。あるく。(そのけしきがすきだから) 大串のうらかわばしからみる山をながめていると山の形がなんかおもしろい形に見えてくる。
思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	水遊び(河川プール)	水遊び、遊び場、楽しいから。	
人と人との触れ合いの活動の場	交流(大串公民館)	現在、日常的な集落内での交流も、公民館を基本に行われている。 (駐車場で)友達とときどきあそぶ 日なたぼっこ、ひるね、音楽をきく、マンガを読む お祭りなどが行われるから	
	弁財天祭り(上古賀と下古賀の弁財天) 弁天様祭り(大串集落北西部の山の上の祠)	弁財天祭 上古賀(山野上)と下古賀(大木の上)に別れて行う、大木の下で祭るお祭りである。豊作を願う。祠では、5月2日に弁天様祭りが行われている。集落の人たちで料理を作り、みんなで飲み食べする。	
	お参り(櫛田神社)	大串集落の人々は、1月4日に櫛田神社をお参りし、その後、公民館で飲んだり食べたりしている。これは、現在も続けられている。	
	お祭り(大権現)	12月7日に大権現で祭りがある。集落内の無病息災を願い、川に裸で二人の亭主前と神主が入る。	
	立石祭り(会場は要調査)	3月1日に立石祭りをやっている。これは、集落内の立石の苗字の方々によるお祭りである。現在も続けられているが、祭りの中心的人が移転してしまったため、少し祭りの勢いに影響がある。	
	七夕(会場は要調査)	七夕は子供たちを中心として行う。	
	早馬様祭り(早馬様)	早馬様祭り。未来を占う占いである。つぼでご飯を炊く。色により将来を占う。	
	土曜学校、お正月(光照寺)	土曜学校、お正月などに行く。	

表 5.1-6(2) 調査結果(大串地区)(2/2)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境 質による分類		理由
地域の文化的 遺産	弁財天 (大串集落北西部の山の 上の祠)	弁財天祭 上古賀(山野上)と下古賀(大木の上)に別 れて行う、大木の下で祀るお祭りである。豊作を願 う。 祠では、5月2日に弁天様祭りが行われている。集 落の人たちで料理を作り、みんなで飲み食べする。
	櫛田神社	大串集落の人々は、1月4日に櫛田神社をお参りし、 その後、公民館で飲んだり食べたりしている。これ は、現在も続けられている。
	大権現	12月7日に大権現で祭りがある。集落内の無病息災 を願い、川に裸で二人の亭主前と神主が入る。
	早馬様	早馬様祭り。未来を占う占いである。つぼでご飯を 炊く。色により将来を占う。
	光照寺	土曜学校、お正月などに行く。

表 5.1-7(1) 調査結果(大野地区)(1/3)

思い入れの場・物の特性 による分類		理由
場所	望郷の丘公園 (下無津呂)	記念に望郷の丘公園を作り、これからもそこで一年に一度みんな で集まり、一杯飲むことにしている。 望郷の丘公園は見晴らしが良い。 また、故郷の思い出として「望郷の丘公園」を下無津呂に作った。 毎年7月第1日曜日に昔の大野地区で集合し、清掃を行っている。 名前を毘沙門会とした。望郷の丘公園は、森林組合が所有してい る土地で、管理は地元の青年会が行っている。 望郷の丘公園は、クヌギ等が生えており、公園を作りやすかった ため場所を選定した。見晴らしの良い所である(栗並地区への眺 望が良い)。
	岳と向山	裏山のことを「岳(たけ)」と呼んだ。表山のことは「向山(むか いやま)」と呼んだ。 大野地区では、東側の山が「岳」で、西側の山が「向山」である。
構造物	春日神社	春日神社では、9月1日に八朔祭が行われた。 春日神社が中心となって、行事を行っていた。 春日神社では八朔祭が開催される。灯籠を境内から国道まで置 く。青年層を中心として開催されたお祭りである。 春日神社では、1月3日、4月20日、7月15日、12月4日に今 でも祭りを行っている。 昔は相撲で資金を得ていた。その後は芝居で資金を得ていた。 昔は、浪花節や外から劇団を呼ぶなどしていた。しかし、劇団員 を飲み食いさせなくてはならず、興行は向かないのではという意 見も出て、戦後、相撲となった。 春日神社の大きな木が好き。木に登って眺めをみている。自然が いっぱいある。
		これはという山並みはないが、春日神社からの「岳」と「向山」 の眺めがある。
		鎮守の森は春日神社を中心として形成された。
		春日神社のいちょうや近くの川が好き。(スケッチやつりをして いる)また、水がきれいめでメンツケバヤがいるから。
		300年以上生きていて麻那古の人達を見守ってきたから。
		木に登って、ながめをみてる(自然がいっぱいあるから。)
構造物	大野地区の祠	大野地区の祠は、春日神社の裏にある。 田んぼ作業を始めるときに、くさきびつくり、たけのこにしめ、 もち(あんころ)を作って、お供えした。 庚申様といって、現在も6人の婦人により1回/2カ月実施されて いる。
	弁財天	青年の楽しみとして弁財天祭りもある。上、下、小の各集落ごと に行っている。5月3日の弁財天祭りは現在も行われている。 弁天様祭りを5月3日に行う。現在は掃除とおまいりを行うのみ。 相撲は実施していない。
	大野公民館	大野地区での地区内の交流の拠点は公民館である。
	金福寺	金福寺のせがき(掃除のこと)。年に一度、掃除を行う。

表 5.1-7(1) 調査結果(大野地区)(2/3)

思い入れの場・物の特性 による分類		理由
行為	祭り、相撲 (春日神社)	春日神社が中心となって、行事を行っていた。 春日神社では八朔祭が開催される。灯籠を境内から国道まで置く。青年層を中心として開催されたお祭りである。 春日神社では、1月3日、4月20日、7月15日、12月4日に今でも祭りを行っている。 昔は相撲で資金を得ていた。その後は芝居で資金を得ていた。 昔は、浪花節や外から劇団を呼ぶなどしていた。しかし、劇団員を飲み食いさせなくてはならず、興行は向かないのではという意見も出て、戦後、相撲となった
	スケッチ、つり、木登り (春日神社)	春日神社のいちょうや近くの川が好き。(スケッチやつりをしている)また、水がきれいでもんツケバヤがいるから。 木に登って眺めをみている。自然がいっぱいある。
	交流(大野公民館)	大野地区での地区内の交流の拠点は公民館である。
	七福神 (各戸及び大野公民館)	昔、青年会により「毘沙門会」という会が作られた。「毘沙門」とは、七福神の7番目である。1番目から言うと、1(福縁寿)、2(寿老)、3(大黒)、4(恵比寿)、5(弁財天)、6(布袋)、7(毘沙門)である。青年7人でそれぞれの格好をして、「毘沙門」は顔を茶色にしなくてはいけなかった。 毘沙門天は天明のころから始まったのであろう。 大野地区は上、下、小ヶ倉の3地区に分かれている。昔はそれぞれの地区ごとに毘沙門天の祭りが行われていた。戦時中は青年がいなく、このときは子供も入り行っていた。子供も少なくなり、昭和27年、28年頃は小ヶ倉まで一緒に七福神を行うようになった。 七福神は変装して19時頃から50戸程、集落を回った。 毘沙門天を復活させたいが、青年層がいない。ダムで人々が分かればと思う。 毘沙門会は昭和40年～50年に作られた。正月は七福神で9月にはなにかをやるうといっていた。9月1日に演劇をやることになった。集落外の者も見に来ていた。 ダムで皆が移転する前に、望郷の丘という劇を演じた。 大野七福神は、大野代官所の侍が、天保3年に、民衆に餅を配ったのが始まり。かのえさるの日、侍の無病息災のため。第2次世界大戦中も行っていた。 大野には3つの古賀内があった。 モグラサンといって、当番決め、引継ぎに行く。行事を行う際、当番制になっており、本通(ほんつう)(当番)、形通(かたいつう)(当番の補佐役)がいた。この2人を亭主前(ていすまえ)と呼んだ。
	青年部会	嘉瀬川ダムによる移転の話が出てから、故郷を思い出すために、手作りの芝居を上演しようと、地区の青年部会が立ち上がった。10年間くらい続いた(おそらく1985年～1995年の10年間)。現在は、若手がいなくなり行っていない。

表 5.1-7(1) 調査結果(大野地区)(3/3)

思い入れの場・物の特性 による分類		理由
(行為)	交流、清掃作業 (望郷の丘公園)	記念に望郷の丘公園を作り、これからもそこで一年に一度みんな で集まり、一杯飲むことにしている。 望郷の丘公園は見晴らしが良い。 また、故郷の思い出として「望郷の丘公園」を下無津呂に作った。 毎年7月第1日曜日に昔の大野地区で集合し、清掃を行っている。 名前を毘沙門会とした。望郷の丘公園は、森林組合が所有してい る土地で、管理は地元の青年会が行っている。
	清掃 (金福寺)	金福寺のせがき(掃除のこと)。年に一度、掃除を行う。
	庚申様 (大野地区の 祠)	大野地区の祠は、春日神社の裏にある。 田んぼ作業を始めるときに、くさきびつくり、たけのこにしめ、 もち(あんころ)を作って、お供えした。 庚申様といって、現在も6人の婦人により1回/2カ月実施されて いる。
	弁天様祭り (弁財天)	青年の楽しみとして弁財天祭りもある。上、下、小の各集落ごと に行っている。5月3日の弁財天祭りは現在も行われている。 弁天様祭りを5月3日に行う。現在は掃除とおまいりを行うのみ。 相撲は実施していない。

表 5.1-7(2) 調査結果(大野地区)(1/3)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境 質による分類		理由
思い入れの 景観	主要な眺望 点(A)	
	景観資源(B)	
	主要な眺望 景観	(A)望郷の丘公園(下無津呂) (B)栗並地区 (A)春日神社 (B)「岳」と「向山」
思い入れの人と 自然との触れ合 いの活動の場	春日神社	春日神社のいちょうや近くの川が好き。(スケッチやつりをしている)また、水がきれいでメンツケバヤがいるから。 木に登って眺めをみている。自然がいっぱいある。
人と人との触れ 合いの活動の場	祭り、相撲(春日神社)	春日神社が中心となって、行事を行っていた。 春日神社では八朔祭が開催される。灯籠を境内から国道まで置く。青年層を中心として開催されたお祭りである。 春日神社では、1月3日、4月20日、7月15日、12月4日に今でも祭りを行っている。 昔は相撲で資金を得ていた。その後は芝居で資金を得ていた。 昔は、浪花節や外から劇団を呼ぶなどしていた。しかし、劇団員を飲み食いさせなくてはならず、興行は向かないのではという意見も出て、戦後、相撲となった
	交流 (大野公民館)	大野地区での地区内の交流の拠点は公民館である。
	青年部会	嘉瀬川ダムによる移転の話が出てから、故郷を思い出すために、手作りの芝居を上演しようと、地区の青年部会が立ち上がった。10年間くらい続いた(おそらく1985年~1995年の10年間)。現在は、若手がいなくなり行っていない。

表 5.1-7(2) 調査結果(大野地区)(2/3)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境 質による分類	理由
人と人との触れ 合いの活動の場	<p>昔、青年会により「毘沙門会」という会が作られた。「毘沙門」とは、七福神の7番目である。1番目から言うと、1(福縁寿)、3(寿老)、3(大黒)、4(恵比寿)、5(弁財天)、6(布袋)、7(毘沙門)である。青年7人でそれぞれの格好をして、「毘沙門」は顔を茶色にしなくてはいけなかった。</p> <p>毘沙門天は天明のころから始まったのであろう。大野地区は上、下、小ヶ倉の3地区に分かれている。昔はそれぞれの地区ごとに毘沙門天の祭りが行われていた。戦時中は青年がいなく、このときは子供も入り行っていた。子供も少なくなり、S27、28年頃は小ヶ倉まで一緒に七福神を行うようになった。七福神は変装して19時頃から50戸程、集落を回った。</p> <p>毘沙門天を復活させたいが、青年層がない。ダムで人々が分かれなければと思う。</p> <p>毘沙門会は昭和40年～50年に作られた。正月は七福神で9月にはなにかをやらうといていた。9月1日に演劇をやることになった。集落外のものも見に来ていた。</p> <p>ダムで皆が移転する前に、望郷の丘という劇を演じた。</p> <p>大野七福神は、大野代官所の侍が、天保3年に、民衆に餅を配ったのが始まり。かのえさるの日、侍の無病息災のため。第2次世界大戦中も行っていた。大野には3つの古賀内があった。</p> <p>モグラサンといって、当番決め、引継ぎに行く。ものである。行事を行う際、当番制になっており、本通(ほんつう)(当番)、形通(かたいつう)(当番の補佐役)がいた。この2人を亭前(ていすまえ)と呼んだ。</p>
交流、清掃作業 (望郷の丘公園)	<p>記念に望郷の丘公園を作り、これからもそこで一年に一度みんなで集まり、一杯飲むことにしている。望郷の丘公園は見晴らしが良い。</p> <p>また、故郷の思い出として「望郷の丘公園」を下無津呂に作った。毎年7月第1日曜日に昔の大野地区で集合し、清掃を行っている。名前を毘沙門会とした。望郷の丘公園は、森林組合が所有している土地で、管理は地元の青年会が行っている。</p>

表 5.1-7(2) 調査結果(大野地区)(3/3)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境 質による分類		理由
人と人との触れ 合いの活動の場	清掃(金福寺)	金福寺のせがき(掃除のこと)。年に一度、掃除を行う。
	庚申様(大野地区の 祠)	大野地区の祠は、春日神社の裏にある。 田んぼ作業を始めるときに、くさきびつくり、たけのこにしめ、もち(あんころ)を作って、お供えした。 庚申様とって、現在も6人の婦人により1回/2カ月実施されている。
	弁天様祭り(弁財天)	青年の楽しみとして弁財天祭りもある。上、下、小の集落ごとに行っている。5月3日の弁財天祭りは現在も行われている。 弁天様祭りを5月3日に行う。現在は掃除とおまいりを行うのみ。相撲は実施していない。
地域の文化的遺産	春日神社	春日神社が中心となって、行事を行っていた。 春日神社では八朔祭が開催される。灯籠を境内から国道まで置く。青年層を中心として開催されたお祭りである。 春日神社では、1月3日、4月20日、7月15日、12月4日に今でも祭りを行っている。 昔は相撲で資金を得ていた。その後は芝居で資金を得ていた。昔は、浪花節や外から劇団を呼ぶなどしていた。しかし、劇団員を飲み食いさせなくてはならず、興行は向かないのではという意見も出て、戦後、相撲となった。鎮守の森は春日神社を中心として形成された。 春日神社のいちょうは300年以上生きていて麻那古の人達を見守ってきたから。
	大野地区の祠 (春日神社の裏)	大野地区の祠は、春日神社の裏にある。 田んぼ作業を始めるときに、くさきびつくり、たけのこにしめ、もち(あんころ)を作って、お供えした。 庚申様とって、現在も6人の婦人により1回/2カ月実施されている。
	弁財天	青年の楽しみとして弁財天祭りもある。上、下、小の集落ごとに行っている。5月3日の弁財天祭りは現在も行われている。 弁天様祭りを5月3日に行う。現在は掃除とおまいりを行うのみ。相撲は実施していない。
	金福寺	金福寺のせがき(掃除のこと)。年に一度、掃除を行う。

表 5.1-8(1) 調査結果(中原地区)(1/4)

思い入れの場・物の特性 による分類		理由
場所	神水川の水辺 (北川橋付近 及び元内藤病 院の裏)	川はつりなどをして楽しい。 広くてみんなと遊べるから。 夏は暑いから、そこにいくとすずしいし遊ぶことができるから。 景色がきれいだから。
	中原公園	遊び場、森林とふれあう、落ち葉ひろい 中原公園の桜と秋のもみじは美しい。 紅葉狩り、景色がきれい
構 造 物	北山小学校 (周辺も含む)	みんなでいるんな遊びができるから。 大きな森をながめる(景色などがきれいだから。ながめるとおちつくから)。 森の景色を休み時間にぼけっと見ている(季節によってかわるから)。 池をながめる(見ているとおちつくから)。 休み時間などに景色を見ている(景色は季節ごとによりいろいろ見れるから)。 昼休み、休み時間などに見る(景色がきれい。見ていると落ちつく)。
	春日神社 (お祭り)	春日神社で三社祭りが行われている。大野の集落と一緒に開催される。もともとは別であったが、大正の初めの頃から中原地区も春日神社に氏子に移した。
	中原公園・弁 財天 (お祭り、参 詣、小宴)	5月3日に中原公園にある弁財天さまでお祭りが行われる。かつては相撲大会を行っていた。現在は相撲はなし。 中原公園の一角に弁財天が祀られている。祭りは5月3日憲法記念日の祝日に行われる。 中原公園の一角に弁財天が祀られている。祭りは5月3日憲法記念日の祝日に行われる。9時ごろから小学校の運動場で区体育祭(ソフトボール、ゲートボール、グランドゴルフ等)を行い、夕方から参詣、弁財天前で亭主前による準備の酒肴を持って小宴。以前は子供たちの相撲を行っていたが、近年は体育祭に変えている。

表 5.1-8(1) 調査結果(中原地区)(2/4)

思い入れの場・物の特性 による分類	理由
(構造物) お観音様(中原観音) (18夜)	<p>お観音様(中原観音)は、大正 9 年に再建されたもので、大正 13 年 8 月の大火による類焼は免れている。毎年 8 月 18 日に例祭で開催し、山笠が曳かれ大層にぎやかだった。</p> <p>大正 13 年の大火の後には、飾り物が大半燃えてしまったので、山笠は再建されず、変わって芝居や映画等の演芸を催して祭りを盛り上げるようになった。</p> <p>舞台を作って劇を演じていた。18日はいつも雨が多かった。昭和 40 年頃までは大変賑やかな祭りであった。劇は、劇団に来ていただいていた。18日は北山小学校の同窓会も開催された。同窓会は小学校の講堂で開催された。今はその講堂はなし。</p> <p>昭和 50 年頃まで続いたが、テレビの普及や青年男女の減少等で参拝者も観客も少なくなった。しかし、前日の 17 日には区役で手作りの舞台掛けを行い、18夜の演芸を催して伝統を守っているところである。</p> <p>18夜の例祭には、次の年の夏頃までに出産するであろうという人達によって安産を祈願する。</p> <p>特に思い入れのある資源は 18夜などの祭りが行われている「中原観音」である。長い間続けられている伝統行事である。</p> <p>以前は山笠を行っていたが、火事などもあり、山笠は行われなくなった。その後、劇団を招いており、地区外からも沢山の人が訪れ、賑わっていたが、昭和 50 年頃からテレビの普及や青年の減少から、観客も少なくなっていった。</p> <p>昨年からは、区内で協議し、区内の人々の手作りの芸・踊などの演芸を行うように変えた。今まで続けてきた伝統的な行事であり、今後も続けていきたい。</p> <p>観音様のお堂</p>
九郎社 (お祭り)	<p>九郎社では、毎年 12 月の初めにそれぞれ豊年への感謝のお祭りが行われている。その年の亭主前から次の年の亭主前への受け渡しは、頭渡(つうわた)しと言い大根を七角に皮を削ぎ、輪切りにして塩につけて、茶碗酒をもってお互いに飲み交わして行われ、大根祭りともいった。</p>
薬師様 (薬師さん祭り)	<p>薬師様は、平安中期の楠の一木造りの立像である。昭和 35、36 年に杉を植えていた。杉を切って広葉樹を植えようと、70 万ほどの金を出して、森林組合が植栽を行った(3年)。</p> <p>薬師の境内は床がはげているところがある。昔、子供たちがこま回しをした跡である。</p> <p>薬師様は 10 数年前に移転されたものである。</p> <p>薬師さん祭りは 4 月の第 1 日曜日に薬師如来立像でお祭りを行っている。平安後期からあるのではないかと定かではない。町の文化財に指定されている。健康を祈る祭りである。当番があり、ご飯を作ったりしている。</p> <p>薬師如来の手にある薬壺で体の悪い所を撫でるとよくなるという言い伝えもあり、遠くからの参拝者も少なくない。</p> <p>4 月にお堂内外の清掃や整備、公園の草刈、水路清掃などを行い、夕刻から区民も大勢参詣し、正念寺住職の読経法要のあと、お堂の横で小宴を行った。平成 10 年 11 月 26 日に富士町重要文化財の指定を受けた。</p>
正念寺 (虫供養)	<p>6 月の末の日曜日に虫供養を行っている。作物を作るために病害虫を殺してしまっているから、その供養。中原地区は百姓が少ないのに、虫供養を行うのは富士町内でも珍しい。正念寺において夕刻から区民参詣のもとに住職の読経をもって法要を行いその後亭主前が準備した酒肴をもって小宴を行う。</p>

表 5.1-8(1) 調査結果(中原地区)(3/4)

思い入れの場・物の特性 による分類		理由
行為	遊ぶ (中原公園)	遊び場、森林とふれあう、落ち葉ひろい
	遊ぶ (神水川の水辺 (北川橋付近)(元内藤病院の裏))	川はつりなどをして楽しい。 広くてみんなと遊べるから。 夏暑いから、そこにいくとすずしいし遊ぶことができるから。
	遊ぶ (北山小学校)	みんなでいろんな遊びができるから。
	三社祭り (春日神社)	春日神社で三社祭りが行われている。大野の集落と一緒で開催される。もともとは別であったが、大正の初めの頃から中原地区も春日神社に氏子を移した。
	お祭り、参詣、 小宴 (中原公園(弁財天))	5月3日に中原公園にある弁財天さまでお祭りが行われる。かつては相撲大会を行っていた。現在は相撲はなし。 中原公園の一角に弁財天が祀られている。祭りは5月3日憲法記念日の祝日に行われる。9時ごろから小学校の運動場で区体育祭(ソフトボール、ゲートボール、グランドゴルフ等)を行い、夕方から参詣、弁財天前で亭主前による準備の酒希を持って小宴。以前は子供たちの相撲を行っていたが、近年は体育祭に変えている。
	18夜の例祭 (お観音様(中原観音))	お観音様(中原観音)は、大正9年に再建されたもので、大正13年8月の大火による類焼は免れている。毎年8月18日に例祭で開催し、山笠が曳かれ大層にぎやかだった。 大正13年の大火の後、飾り物が大半燃えてしまったので、山笠は再建されず、変わって芝居や映画等の演芸を催して祭りを盛り上げるようになった。 舞台を作って劇を演じていた。18日はいつも雨が多かった。昭和40年頃までは大変賑やかな祭りであった。劇は、劇団に来ていただいていた。18日は北山小学校の同窓会も開催された。同窓会は小学校の講堂で開催された。今はその講堂はなし。 昭和50年頃まで続いたが、テレビの普及や青年男女の減少等で参拝者も観客も少なくなった。しかし、前日の17日には区役で手作りの舞台掛けを行い、18夜の演芸を催して伝統を守っているところである。 18夜の例祭には、次の年の夏頃までに出産するであろうという人達によって安産を祈願する。 特に思い入れのある資源は18夜などの祭りが行われている「中原観音」である。長い間続けられている伝統行事である。 以前は山笠を行っていたが、火事などもあり、山笠は行われなくなった。その後、劇団を招いており、地区外からも沢山の人が訪れ、賑わっていたが、昭和50年頃からテレビの普及や青年の減少から、観客も少なくなっていった。 昨年からは、区内で協議し、区内の人々の手作りの芸・踊などの演芸を行うように変えた。今まで続けてきた伝統的な行事であり、今後も続けていきたい。
	お祭り (九郎社)	九郎社では、毎年12月の初めにそれぞれ豊年への感謝のお祭りが行われている。その年の亭主前から次の年の亭主前への受け渡しは、頭渡(つうわた)しと言い大根を七角に皮を削ぎ、輪切りにして塩につけて、茶碗酒をもってお互いに飲み交わして行われ、大根祭りともいった。

表 5.1-8(1) 調査結果(中原地区)(4/4)

思い入れの場・物の特性 による分類		理由
(行為)	薬師さん祭り (薬師様)	<p>薬師様は、平安中期の楠の一木造りの立像である。昭和 35、36 年杉を植えていた。杉を切って広葉樹を植えようと、70 万ほどの金を出して、森林組合が植栽を行った(3 年)。</p> <p>薬師の境内は床がはげているところがある。昔、子供たちがこま回しをした跡である。</p> <p>薬師様は 10 数年前に移転されたものである。</p> <p>薬師さん祭りは 4 月の第 1 日曜日に薬師如来像でお祭りを行っている。平安後期からあるのではないか定かではない。町の文化財に指定されている。健康を祈る祭りである。当番があり、ご飯を作ったりしている。</p> <p>薬師如来の手にある薬壺で体の悪い所を撫でるとよくなるという言い伝えもあり、遠くからの参拝者も少なくない。</p>
	虫供養 (正念寺)	<p>6 月の末の日曜日に虫供養を行っている。作物を作るために病害虫を殺してしまっているから、その供養。中原地区は百姓が少ないのに、虫供養を行うのは富士町内でも珍しい。正念寺において夕刻から区民参詣のもとに住職の読経をもって法要を行いその後亭主前が準備した酒肴をもって小宴を行う。</p>
	お葬式	<p>人間関係が都会風になってきている。お葬式も集落の方がすべて協力して炊き出しや掃除をしている。これは今も残っており、勤めを休んででも協力を行う。これはどこの集落でも変わらぬであろう。</p>

表 5.1-8(2) 調査結果(中原地区)(1/5)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境質による分類		理由	
思い入れの景観	主要な眺望点 (A)		
	景観資源 (B)	中原公園	桜と秋のもみじは美しい。紅葉狩り、景色がきれい。
		神水川の水辺(北川橋付近)	景色がきれいだから。
主要な眺望景観	(A) 北山小学校 (B) 岳・向山	大きな森をながめる(景色などがきれいだから。ながめるとおちつくから)。森の景色を休み時間にぼけっと見ている(季節によってかわるから)。池をながめる(見ているとおちつくから)。休み時間などに景色を見ている(景色は季節ごとによりいろいろ見れるから)。昼休み、休み時間などに見る(景色がきれい。見ていると落ちつく)。	
思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	中原公園	遊び場、森林とふれあう、落ち葉ひろい	
	神水川の水辺(北川橋付近)(元内藤病院の裏)	川はつりなどをして楽しい。広くてみんなと遊べるから。夏暑いから、そこにいくとすずしいし遊ぶことができるから。	
人と人との触れ合いの活動の場	遊ぶ(北山小学校)	みんなでいろんな遊びができるから。	
	三社祭り(春日神社)	春日神社で三社祭りが行われている。大野の集落と一緒に開催される。もともとは別であったが、大正の初めの頃から中原地区も春日神社に氏子に移した。	
	お祭り、参詣、小宴(中原公園(弁財天))	5月3日に中原公園にある弁財天さまでお祭りが行われる。かつては相撲大会を行っていた。現在は相撲はなし。中原公園の一角に弁財天が祀られている。祭りは5月3日憲法記念日の祝日に行われる。9時ごろから小学校の運動場で区体育祭(ソフトボール、ゲートボール、グランドゴルフ等)を行い、夕方から参詣、弁財天前で亭主前による準備の酒希を持って小宴。以前は子供たちの相撲を行っていたが、近年は体育祭に変えている。	

表 5.1-8(2) 調査結果(中原地区)(2/5)

思い入れの場・物の特性を考慮した 環境質による分類	理由
<p>(人と人との触れ合いの活動の場)</p>	<p>18 夜の例祭(お観音様(中原観音))</p> <p>お観音様(中原観音)は、大正 9 年に再建されたもので、大正 13 年 8 月の大火による類焼は免れている。毎年 8 月 18 日に例祭で開催し、山笠が曳かれ大層にぎやかだった。</p> <p>大正 13 年の大火の後には、飾り物が大半燃えてしまったので、山笠は再建されず、替わって芝居や映画等の演芸を催して祭りを盛り上げるようになった。</p> <p>舞台を作って劇を演じていた。18 日はいつも雨が多かった。昭和 40 年頃までは大変賑やかな祭りであった。劇は、劇団に来ていただいていた。18 日は北山小学校の同窓会も開催された。同窓会は小学校の講堂で開催された。今はその講堂はなし。</p> <p>昭和 50 年頃まで続いたが、テレビの普及や青年男女の減少等で参拝者も観客も少なくなった。しかし、前日の 17 日には区役で手作りの舞台掛けを行い、18 夜の演芸を催して伝統を守っているところである。</p> <p>18 夜の例祭には、次の年の夏頃までに出産するであろうという人達によって安産を祈願する。</p> <p>特に思い入れのある資源は 18 夜などの祭りが行われている「中原観音」である。長い間続けられている伝統行事である。</p> <p>以前は山笠を行っていたが、火事などもあり、山笠は行われなくなった。その後、劇団を招いており、地区外からも沢山の人が訪れ、賑わっていたが、昭和 50 年頃からテレビの普及や青年の減少から、観客も少なくなっていった。</p> <p>昨年からは、区内で協議し、区内の人々の手作りの芸・踊などの演芸を行うように替えた。今まで続けてきた伝統的な行事であり、今後も続けていきたい。</p>
	<p>お祭り(九郎社)</p> <p>九郎社では、毎年 12 月の初めにそれぞれ豊年への感謝のお祭りが行われている。その年の亭主前から次の年の亭主前への受け渡しは、頭渡(つうわたし)と言い大根を七角に皮を削ぎ、輪切りにして塩につけて、茶碗酒をもってお互いに飲み交わして行われ、大根祭りともいった。</p>

表 5.1-8(2) 調査結果(中原地区)(3/5)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境質による分類		理由
(人と人との触れ合いの活動の場)	薬師さん祭り(薬師様)	<p>薬師様は、平安中期の楠の一木造りの立像である。昭和 35、36 年杉を植えていた。杉を切って広葉樹を植えようと、70 万ほどの金を出して、森林組合が植栽を行った(3 年)。</p> <p>薬師の境内は床がはげているところがある。昔、子供たちがこま回しをした跡である。</p> <p>薬師様は 10 数年前に移転されたものである。</p> <p>薬師さん祭りは 4 月の第 1 日曜日に薬師如来立像でお祭りを行っている。平安後期からあるのではないか定かではない。町の文化財に指定されている。健康を祈る祭りである。当番があり、ご飯を作ったりしている。</p> <p>薬師如来の手にある薬壺で体の悪い所を撫でるとよくなるという言い伝えもあり、遠くからの参拝者も少なくない。</p>
	虫供養(正念寺)	<p>6 月の末の日曜日に虫供養を行っている。作物を作るために病害虫を殺してしまっているから、その供養。</p> <p>中原地区は百姓が少ないのに、虫供養を行うのは富士町内でも珍しい。正念寺において夕刻から区民参詣のもとに住職の読経をもって法要を行いその後亭主前が準備した酒希をもって小宴を行う。</p>
	お葬式	<p>人間関係が都会風になってきている。お葬式も集落の方がすべて協力して炊き出しや掃除をしている。これは今も残っており、勤めを休んででも協力を行う。これはどこの集落でも変わらぬであろう。</p>
地域の文化的遺産	春日神社	<p>春日神社で三社祭りが行われている。大野の集落と一緒に開催される。もともとは別であったが、大正の初めの頃から中原地区も春日神社に氏子に移した。</p>
	弁財天(中原公園)	<p>5 月 3 日に中原公園にある弁財天さまでお祭りが行われる。かつては相撲大会を行っていた。現在は相撲はなし。</p> <p>中原公園の一角に弁財天が祀られている。祭りは 5 月 3 日憲法記念日の祝日に行われる。9 時ごろから小学校の運動場で区体育祭(ソフトボール、ゲートボール、グランドゴルフ等)を行い、夕方から参詣、弁財天前で亭主前による準備の酒希を持って小宴。以前は子供たちの相撲を行っていたが、近年は体育祭に変えている。</p>

表 5.1-8(2) 調査結果(中原地区)(4/5)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境 質による分類	理由
地域の文化的遺産	<p>お観音様(中原観音)</p> <p>お観音様(中原観音)は、大正9年に再建されたもので、大正13年8月の大火による類焼は免れている。毎年8月18日に例祭で開催し、山笠が曳かれ大層にぎやかだった。</p> <p>大正13年の大火の後は、飾り物が大半燃えてしまったので、山笠は再建されず、替わって芝居や映画等の演芸を催して祭りを盛り上げることになった。舞台を作って劇を演じていた。18日はいつも雨が多かった。昭和40年頃までは大変賑やかな祭りであった。劇は、劇団に来ていただいていた。18日は北山小学校の同窓会も開催された。同窓会は小学校の講堂で開催された。今はその講堂はなし。</p> <p>昭和50年頃まで続いたが、テレビの普及や青年男女の減少等で参拝者も観客も少なくなった。しかし、前日の17日には区役で手作りの舞台掛けを行い、18夜の演芸を催して伝統を守っているところである。</p> <p>18夜の例祭には、次の年の夏頃までに出産するであろうという人達によって安産を祈願する。特に思い入れのある資源は18夜などの祭りが行われている「中原観音」である。長い間続けられている伝統行事である。</p> <p>以前は山笠を行っていたが、火事などもあり、山笠は行われなくなった。その後、劇団を招いており、地区外からも沢山の人が訪れ、賑わっていたが、昭和50年頃からテレビの普及や青年の減少から、観客も少なくなっていった。</p> <p>昨年からは、区内で協議し、区内の人々の手作りの芸・踊などの演芸を行うように替えた。今まで続けてきた伝統的な行事であり、今後も続けていきたい。</p> <p>九郎社</p> <p>九郎社では、毎年12月の初めにそれぞれ豊年への感謝のお祭りが行われている。その年の亭主前から次の年の亭主前への受け渡しは、頭渡(つうわたし)と言い大根を七角に皮を削ぎ、輪切りにして塩につけて、茶碗酒をもってお互いに飲み交わして行われ、大根祭りともいった。</p>

表 5.1-8(2) 調査結果(中原地区)(5/5)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境 質による分類	理由
地域の文化的遺産	<p>薬師様</p> <p>薬師様は、平安中期の楠の一木造りの立像である。昭和 35、36 年杉を植えていた。杉を切って広葉樹を植えようと、70 万ほどの金を出して、森林組合が植栽を行った(3 年)。 薬師の境内は床がはげているところがある。昔、子供たちがこま回しをした跡である。 薬師様は 10 数年前に移転されたものである。 薬師さん祭りは 4 月の第 1 日曜日に薬師如来立像でお祭りを行っている。平安後期からあるのではないか？定かではない。町の文化財に指定されている。健康を祈る祭りである。当番があり、ご飯を作ったりしている。 薬師如来の手にある薬壺で体の悪い所を撫でるとよくなるという言い伝えもあり、遠くからの参拝者も少なくない。</p>
	<p>正念寺 (虫供養)</p> <p>6 月の末の日曜日に虫供養を行っている。作物を作るために病害虫を殺してしまっているから、その供養。中原地区は百姓が少ないのに、虫供養を行うのは富士町内でも珍しい。正念寺において夕刻から区民参詣のもとに住職の読経をもって法要を行いその後亭主前が準備した酒肴をもって小宴を行う。</p>

表 5.1-9(1) 調査結果(古湯地区)

思い入れの場・物の特性 による分類		理由
場所	古湯温泉	古湯地区の一番のポイントとなるものは温泉である。 古湯地区が温泉地として栄え始めたのは、おそらく明治の頃である。 昭和 57 年から毎年 9 月に、村おこしのイベントとして北部山村温泉センターで、古湯温泉センターで「古湯映画祭」を行っている。俳優さんや映画監督さんも呼び、地区外の人でも沢山古湯を訪れる。 温泉祭りを毎年夏に行っている。花火大会を行う。 古湯地区では、古湯温泉そのものが地域の目玉である。
	古湯権現山公園	地区内で、印象の残る景色としては、温泉センター前(古湯権現山公園)の紅葉と桜、町民グラウンドの周りの桜、雄淵雌淵公園の藤等である。
	雄淵雌淵公園	地区内で、印象の残る景色としては、古湯温泉センター前(古湯権現山公園)の紅葉と桜、町民グラウンドの周りの桜、雄淵雌淵公園の藤等である。
構造物	北向き神社	北向き神社にお地蔵様があり、お年寄りによくお参りをしている。頭脳の神であり、ボケ防止である。
	淀姫神社、松森神社等	淀姫神社、松森神社等でお正月に初参りを行う。
行為	町民体育大会	町で主催する町民体育大会もイベントの一つである。
	お参り (北向き神社)	北向き神社にお地蔵様があり、お年寄りによくお参りをしている。頭脳の神であり、ボケ防止である。
	初参り(淀姫神社、松森神社等)	淀姫神社、松森神社等でお正月に初参りを行う。
	鯉供養	旅館で鯉を料理することが多いこともあり、供養と感謝の気持ちを込めて鯉供養を行う。
	御供日(おくん にち)	集落内でも一番の祭りは、秋の豊作を感謝し、五穀豊穰、健康を祈願する「御供日(おくんにち)」である。いつから祭りが始まったかは定かではないが、現在も引き続き行われており、参加者は古湯地区と貝野地区と合わせて 60 から 70 人である。10 月の第 1 週に開催する。祭りは、古湯金正浮立保存会を中心に行われている。 村内を一日かけて行列を作り、歩き回る(古湯公民館 淀姫神社 諏訪神社 貝野公民館 綾部八幡神社と綾部八万神社別御魂 あんやさんへ続けて二庭奉納 貝野区長宅 貝野公民館で昼食 松森稲荷神社へ奉納 北部山村開発センター駐車場で、戦没者忠魂碑へ奉納 富士小学校 鶴霊温泉薬師さんへ奉納 彦山大権現山社へ奉納 正一位勝打山稲荷神社へ奉納 英竜温泉薬師さんへ奉納 古湯公民館にて打ち収め 三本締めで終わり)。 頭に花飾りをつける。花は芭蕉の花で、200 年前に水害により汚い水が流れ疫病がはやった。このとき、芭蕉の葉をせんで飲んだところ、病気がなくなったといわれている。ここから、祭りの時に芭蕉の花の形の飾りを頭にかぶる。祭りのあと、花飾りから花をとり、家の仏壇に飾り、無病息災を祈る。

表 5.1-9(2) 調査結果(古湯地区)(1/2)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境 質による分類		理由
思い入れの 景観	主要な眺望 点(A)	
	景観資源(B)	雄淵雌淵公園 地区内で、印象の残る景色としては、古湯温泉センター前(古湯権現山公園)の紅葉と桜、町民グラウンドの周りの桜、雄淵雌淵公園の藤等である。
	主要な眺望 景観	(A)古湯権現山公園 (B)古湯温泉街 地区内で、印象の残る景色としては、古湯温泉センター前(古湯権現山公園)の紅葉と桜、町民グラウンドの周りの桜、雄淵雌淵公園の藤等である。
思い入れの人と 自然との触れ合 いの活動の場		
人と人との触れ 合いの活動の場	古湯映画祭、花火大会(古湯温泉)	古湯地区の一番のポイントとなるものは温泉である。 古湯地区が温泉地として栄え始めたのは、おそらく明治の頃である。 昭和 57 年から毎年 9 月に、村おこしのイベントとして北部山村温泉センターで、古湯温泉センターで「古湯映画祭」を行っている。俳優や映画監督も呼び、地区外の人でも沢山古湯に訪れる。 温泉祭りを毎年夏に行っている。花火大会を行う。 古湯地区では、古湯温泉そのものが地域の目玉である。
	町民体育大会	町で主催する町民体育大会もイベントのひとつである。
	鯉供養	旅館で鯉を料理することが多いこともあり、供養と感謝の気持ちを込めて鯉供養を行う。

表 5.1-9(2) 調査結果(古湯地区)(2/2)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境 質による分類		理由
(人と人との触れ 合いの活動の場)	御供日(おくにち)	<p>集落内でも一番の祭りは、秋の豊作を感謝し、五穀豊穡、健康を祈願する「御供日(おくにち)」である。いつから祭りが始まったかは定かではないが、現在も引き続き行われており、参加者は古湯地区と貝野地区と合わせて60から70人である。10月の第1週に開催する。祭りは、古湯金正浮立保存会を中心に行われている。</p> <p>村内を一日かけて行列を作り、歩き回る(古湯公民館 淀姫神社 諏訪神社 貝野公民館 綾部八幡神社と綾部八万神社別御魂あんやさんへ続けて二庭奉納 貝野区長宅 貝野公民館で昼食 松森稲荷神社へ奉納 北部山村開発センター駐車場で、戦没者忠魂碑へ奉納 富士小学校 鶴霊温泉薬師さんへ奉納 彦山大権現山社へ奉納 正一位勝打山稲荷神社へ奉納 英竜温泉薬師さんへ奉納 降る湯公民館にて打ち収め 三本締めで終わり)。</p> <p>頭に花飾りをつける。花は芭蕉の花で、200年前に水害により汚い水が流れ疫病がはやった。このとき、芭蕉の葉をせんじて飲んだところ、病気がなくなったといわれている。ここから、祭りの時に芭蕉の花の形の飾りを頭にかぶる。祭りのあと、花飾りから花をとり、家の仏壇に飾り、無病息災を祈る。</p>
地域の文化的遺産	北向き神社	北向き神社にお地藏様があり、お年寄りによくお参りをしている。頭脳の神であり、ボケ防止である。
	淀姫神社、松森神社等	淀姫神社、松森神社等でお正月に初参りを行う。

表 5.1-10(1) 調査結果(須田地区)

思い入れの場・物の特性 による分類		理由
場所	九州自然歩道	九州自然歩道に指定されており、富士町役場近くに九州自然歩道の看板があるため、たまに散策で訪れている人がいるようである。たまに道を尋ねられる。須田公園までは車でアクセスできるが、その先は車でのアクセスは不可能である。
構造物	天満宮	天満宮では、年に2回お祭りを行っている。正月に向けてしめ縄を飾る12月の末のお祭り、夏に大きな病気がはやらないように、といったお祭りである。
	須田地区内の6社の神社	鉦浮立といって須田地区内の6社の神社を祈るものである。130年程続き、10月11日に行っていた。今は10月の第3土曜日に行っている。
	白鬚神社	白鬚神社は、土捨場の整備により移設される。土捨場の整備後、再度今の場所へ移設を希望しており、今交渉中である。
	須田遊園地(観音様)	須田遊園地の所に、観音様がある。9月の第3土曜日にお祭りがある。集落外の者も訪れる。青年団を中心として行われる。10年程前に整備が行われ、建物等も建て直しが行われた。地区内で、今後、地区外へ移転をしたとしても訪れるであろうと思う場所は須田遊園地であり、祭りへは参加をするであろう。
行為	散策	九州自然歩道に指定されており、富士町役場近くに九州自然歩道の看板があるため、たまに散策で訪れている人がいるようである。たまに道を尋ねられる。須田公園までは車でアクセスできるが、その先は車でのアクセスは不可能である。
	お祭り(天満宮)	天満宮では、年に2回お祭りを行っている。正月に向けてしめ縄を飾る12月の末のお祭り、夏に大きな病気がはやらないように、といったお祭りである。
	鉦浮立(須田地区内の6社)	鉦浮立といって須田地区内の6社の神社を祈るものである。130年程続き、10月11日に行っていた。今は10月の第3土曜日に行っている。
	お祭り(観音様)	須田公園の所に、観音様がある。9月の第3土曜日にお祭りがある。集落外の者も訪れる。青年団を中心として行われる。地区内で、今後、地区外へ移転をしたとしても訪れるであろうと思う場所は須田公園であり、祭りへは参加をするであろう。

表 5.1-10(2) 調査結果(須田地区)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境質による分類		理由
景観 思い 入れ の	主要な眺望点	
	景観資源	
	主要な眺望景観	
思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	九州自然歩道	九州自然歩道に指定されており、富士町役場近くに九州自然歩道の看板があるため、たまに散策で訪れている人がいるようである。たまに道を尋ねられる。須田公園までは車でアクセスできるが、その先は車でのアクセスは不可能である。
人と人との触れ合いの活動の場	お祭り (天満宮)	年に2回お祭りを行っている。正月に向けてしめなわを飾る12月の末のお祭りと、夏に大きな病気がはやらないように、といったお祭りである。
	鉦浮立 (須田地区内の6社の神社)	鉦浮立といって須田地区内の6社の神社を祈るものである。130年程続き、10月11日に行っていた。今は10月の第3土曜日に行っている。
	お祭り (観音様)	須田公園の所に、観音様がある。9月の第3土曜日にお祭りがある。集落外の者も訪れる。青年団を中心として行われる。10年程前に公園整備が行われ、建物等も建て直しが行われた。地区内で、今後、地区外へ移転をしたとしても訪れるであろうと思う場所は須田公園であり、祭りへは参加をするであろう。
地域の文化的遺産	天満宮	年に2回お祭りを行っている。正月に向けてしめ縄を飾る12月の末のお祭りと、夏に大きな病気がはやらないように、といったお祭りである。
	須田地区内の6社の神社	鉦浮立といって須田地区内の6社の神社を祈るものである。130年程続き、10月11日に行っていた。今は10月の第3土曜日に行っている。
	白鬚神社	白鬚神社は、土捨場の整備により移設される。土捨場の整備後、再度今の場所へ移設を希望しており、今交渉中である。
	観音様 (須田公園)	須田公園の所に、観音様がある。9月の第3土曜日にお祭りがある。集落外のものも訪れる。青年団を中心として行われる。10年程前に公園整備が行われ、建物等も建て直しが行われた。

表 5.1-11(1) 調査結果(菖蒲地区)

思い入れの場・物の特性 による分類		理由
場所	楠木神社前の 河川 (河川沿いの 桜)	近くの川では蛍が見られる。 土捨場の造成により、楠神社前の河川の付け替えも行われる。現在生息している生物がどうなるのかが不安である。河川沿いの桜もどうなるのであろう。河川は、自然石を置き、また水のたまる場所も設け、なるべく現在の状況が残るようにしたい。
	かっちゃ石	かっちゃ石(巨石、近くに祠あり)はダムができた後、ダム湖への眺望がよいであろう。
構造物	楠神社	楠神社は、楠木正成由来の神社である。本堂が老朽化しており、立て替えようか検討中である。
	眼鏡橋	菖蒲地区で区域の人々の思いが一番ある場所は、眼鏡橋である。集落への玄関口にも位置する。かつて、眼鏡橋を作ったころは、集落の人はかなりの寄付を行っていたであろうし、橋の建設にかなりの協力を行っていた。今回のダム建設により、眼鏡橋の橋のたもと辺りまで水につかってしまう。崩れないかどうか心配である。集落としては、県道と付替道路に眼鏡橋の移設を希望している。
	菖蒲公民館	菖蒲ご膳、菖蒲夏祭りの会場である。 地区内地区外との交流は、菖蒲ご膳を中心として、そのつながりから、広がっていている。
行為	蛍や桜との触れ合い(楠神社前の河川)	近くの川では蛍が見られる。 土捨場の造成により、楠神社前の河川の付け替えも行われる。現在生息している生物がどうなるのかが不安である。河川沿いの桜もどうなるのであろう。河川は、自然石を置き、また、水のたまる場所も設け、なるべく現在の状況が残るようにしたい。
	御供日祭り(大祭り) (楠神社)	楠神社では10月15日に「御供日祭り」(大祭り)で豊作を祝う。地区の人は初参りには楠神社でおまいりをする。
	建設 (眼鏡橋)	菖蒲地区で区域の人々の思いが一番ある場所は、眼鏡橋である。集落への玄関口にも位置する。かつて、眼鏡橋を作ったころは、集落の人はかなりの寄付を行っていたであろうし、橋の建設にかなりの協力を行っていた。今回のダム建設により、眼鏡橋の橋のたもと辺りまで水につかってしまう。崩れないかどうか心配である。集落としては、県道と付替道路に眼鏡橋の移設を希望している。
	お祭り (観音様)	観音様で8月18日にお祭りがある。観音様は女性の守り神である。4つの古賀(4~5戸からなる)で昼に集まり夜に公民館に移動する。女性だけの祭りである。 観音様の横には、箱があり、前かけのようなものが入っており、妊婦の時にとりに行き、出産の後、返しに行き、お参りをする。
	菖蒲ご膳 (菖蒲公民館)	地区内の協力や地区外との交流で一番大きな行事は菖蒲ご膳である。今回のダム関係において、毎回開催場所として利用している公民館の移設の問題等があるが、今後も続けていきたいと考えている。
	菖蒲夏祭り (菖蒲公民館)	8月には、公民館の外で菖蒲夏祭りが行われる。盆踊りや焼肉、山菜料理等で楽しむ。菖蒲ご膳は、リピーターの方も多く、夏祭りも菖蒲ご膳参加者の方も招待している。地区外の方も呼んでいる。

表 5.1-11(2) 調査結果(菖蒲地区)(1/2)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境 質による分類		理由
景観 思い 入れ の	主要な眺望 点	
	景観資源	
	主要な眺望 景観	
思い入れの人と 自然との触れ合 いの活動の場	楠神社前の河川 (河川沿いの桜)	近くの川では蛍が見られる。 土捨場の造成により、楠神社前の河川の付け替えも 行われる。現在生息している生物がどうなるのかが 不安である。河川沿いの桜もどうなるのであろう。 河川は、自然石を置き、また水のたまる場所も設け、 なるべく現在の状況が残るようにしたい。
人と人との触れ 合いの活動の場	御供日祭り(楠神社)	楠木正成由来の神社である。 楠神社では10月15日に「御供日祭り」(大祭り)で 豊作を祝う。 地区の人は初参りには楠神社でおまいりをする。
	建設(眼鏡橋)	菖蒲地区で区域の人々が一番思いのある場所は、眼 鏡橋である。集落への玄関口にも位置する。かつて、 眼鏡橋を作ったころは、集落の人はかなりの寄付を 行っていたであろうし、橋の建設にかなりの協力を 行っていた。今回のダム建設により、眼鏡橋の橋の たもと辺りまで水につかってしまう。崩れないかど うかが心配である。集落としては、県道と付替道路 に眼鏡橋の移設を希望している。
	お祭り(観音様)	観音様で8月18日にお祭りがある。観音様は女性 の守り神である。4つの古賀(4から5戸からなる) で昼に集まり夜に公民館に移動する。女性のための祭 りである。 観音様の横には、箱があり、前かけのようなものが 入っており、妊婦の時にとりに行き、出産の後、返 しに行き、お参りをする。
	菖蒲ご膳 (菖蒲公民館)	地区内の協力や地区外との交流で一番大きな行事 は菖蒲ご膳である。今回のダム関係において、毎回 開催場所として利用している公民館の移設の問題 等があるが、今後も続けていきたいと考えている。
	菖蒲夏祭り (菖蒲公民館)	8月には、公民館の外で菖蒲夏祭りが行われる。盆 踊りや焼肉、山菜料理等で楽しむ。菖蒲ご膳は、リ ピーターの方も多く、夏祭りも菖蒲ご膳参加者の方 も招待している。地区外の方も呼んでいる。
	地区内地区外との交 流(菖蒲公民館)	地区内地区外との交流は、菖蒲ご膳を中心として、 そのつながりから、広がっていつている。

表 5.1-11(2) 調査結果(菖蒲地区)(2/2)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境 質による分類		理由
地域の文化的遺産	かっちゃん石	かっちゃん石(巨石、近くに祠あり)はダムができた後、ダム湖への眺望がよいであろう。
	楠神社	楠神社は、楠木正成由来の神社である。本堂が老朽化しており、立て替えようか検討中である。
	眼鏡橋	集落への玄関口にも位置する。かつて、眼鏡橋を作ったころは、集落の人はかなりの寄付を行っていたであろうし、橋の建設にかなりの協力を行っていた。
	観音様	8月18日にお祭りがある。 昼に集まり夜に公民館に移動する。女性だけの祭りである。 観音様の横には、箱があり、前かけのようなものが入っており、妊婦の時にとりに行き、出産の後、返しに行き、お参りをする。

表 5.1-12(1) 調査結果(内野地区)

思い入れの場・物の特性 による分類		理由
場所		
構造物	内野七郎神社 (祠)	内野七郎神社で、お祭りを行っている。ダムから来た人は、祭り に対しての思い入れが強い。松瀬地区の人々はお祭りへの意識は 低い。ダムからの人は祭りに使う道具等もすべて時間をかけて手 作りをしている。松瀬地区の人からすれば、買ってしまえば早い のに、といった思いがある。 神社での祭りは、亭主前といって当番が回ってくる。 内野七郎神社にダム付近から祠が移設される。 内野七郎神社には昔は大木があった。葉が落ちることから切って しまった。神主からは鎮守の森にしてほしいという意見もある が、無理であろう。
	ふれあい館	今後、内野の集落において、残すべきであろうと思うものは、「ふ れあい館」と「神社」であり、廃止するべきであろうと思うもの は、「納税組合」である。
行為	お葬式	ダムからの移転者は 20 戸である。祭りや婦人会等の活動に大変 意識が高く、また、昔からの風習を継続している。集落内でお葬 式があった時、亡くなった方の家にお葬式前の日にみんなであつ まり、箸を皆で作る(木を削って)等、お葬式の準備をしながら、 亡くなった方の思い出を皆で話していた。
	お祭り (内野七郎神 社)	内野七郎神社で、お祭りを行っている。ダムから来た人は、祭り に対しての思い入れが強い。松瀬地区の人々はお祭りへの意識は 低い。ダムからの人は祭りに使う道具等もすべて時間をかけて手 作りをしている。松瀬地区の人からすれば、買ってしまえば早い のに、といった思いがある。 神社での祭りは、亭主前といって当番が回ってくる
	太鼓やリズム ダンスや老人 会 (ふれあい館)	内野地区内にふれあい館がある。そこでは、様々な活動が行われ ている。太鼓やリズムダンスの活動や老人会の活動が行われてい る。

表 5.1-12(2) 調査結果(内野地区)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境 質による分類		理由
景観 思い 入れ の	主要な眺 望点	
	景観資源	
	主要な眺 望景観	
思い入れの人と 自然との触れ合 いの活動の場		
人と人との触れ 合いの活動の場	お葬式	ダムからの移転者は 20 戸である。祭りや婦人会等の活動に大変意識が高く、また昔からの風習を継続している。集落内でお葬式があった時、亡くなった方の家にお葬式前の日にみんなであつまり、箸を皆で作る(木を削って)等、お葬式の準備をしながら、亡くなった方の思い出を皆で話していた。
	お祭り (内野七郎神社)	内野七郎神社で、お祭りを行っている。ダムから来た人は、祭りに対しての思い入れが強い。松瀬地区の人々はお祭りへの意識は低い。ダムからの人は祭りに使う道具等もすべて時間をかけて手作りをしている。松瀬地区の人からすれば、買ってしまえば早いのに、といった思いがある。 神社での祭りは、亭主前といって当番が回ってくる
	太鼓やリズムダンス や老人会 (ふれあい館)	内野地区内にふれあい館がある。そこでは、様々な活動が行われている。太鼓やリズムダンスの活動や老人会の活動が行われている。
地域の文化的遺 産	内野七郎神社	内野七郎神社で、お祭りを行っている。ダムから来た人は、祭りに対しての思い入れが強い。松瀬地区の人々はお祭りへの意識は低い。ダムからの人は祭りに使う道具等もすべて時間をかけて手作りをしている。松瀬地区の人からすれば、買ってしまえば早いのに、といった思いがある。 神社での祭りは、亭主前といって当番が回ってくる
	ふれあい館	内野地区内にふれあい館がある。そこでは、様々な活動が行われている。太鼓やリズムダンスの活動や老人会の活動が行われている。

表 5.1-13(1) 調査結果(小副川地区)

思い入れの場・物の特性 による分類		理由
場所	熊の川温泉	かつて、祇園祭りを行っていた頃は、地区の中心となるものは天満神社であった。しかし、現在は、これとってない。外の人に自分の地区の自慢をすれば、熊の川温泉である。現在、ダムの関係により、熊の川温泉を訪れる人が減るといったことも見られない。 しかし、昔は、熊の川温泉を皮膚病などの温泉治療として利用していた人がいたが、現在は、医療も発達したせいかなこのような利用者は少なくなっている。ほとんど観光目的の利用者である。
構造物	天満神社	天満神社は周辺の集落がお祭りの場所として使用されているが、参加者は、地区の役員と老人のみである。お参りをする程度の祭りである。
	代替地内の集会所	小副川地区内には、西畑瀬から移転してきた人々の湯の里代替地がある。代替地内には集会所が作られており、移転者の方々はそこで交流していると思われる。代替地への移転は4年～5年前である。
行為	各小集落のお祭り (天満神社)	小副川地区では9の小集落からなる。各小集落において、それぞれでお祭りを行っている。互いの交流は薄い。 天満神社は周辺の集落がお祭りの場所として使用されているが、参加者は、地区の役員と老人のみである。お参りをする程度の祭りである。
	老人会	地区内全体の交流は、老人会程度である(お昼ご飯を食べる等)。
	清掃作業	地区全体の活動としては、春と秋に行う、地区内の道路等の清掃作業である。

表 5.1-13(2) 調査結果(小副川地区)

思い入れの場・物の特性を考慮した環境質による分類		理由
景観 思い 入れ の	主要な眺望点	
	景観資源 主要な眺望 景観	
思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場		
人と人との触れ合いの活動の場	観光 (熊の川温泉)	かつて、祇園祭を行っていた頃は、地区の中心となるものは天満神社であった。しかし、現在は、これとっていない。外の人に自分の地区の自慢をすれば、熊の川温泉である。 現在、ダムの関係により、熊の川温泉を訪れる人が減るといったことも見られない。 しかし、昔は、熊の川温泉を皮膚病などの温泉治療として利用していた人がいたが、現在は、医療も発達したせいかなこのような利用者は少なくなっている。ほとんど観光目的の利用者である
	交流 (代替地内の集会所)	小副川地区内には、西畑瀬から移転してきた人々の湯の里代替地がある。代替地内には集会所が作られており、移転者の方々はそこで交流していると思われる。代替地への移転は4年~5年である。
	老人会	地区内全体の交流は、老人会程度である(お昼ご飯を食べる等)。
	清掃作業	地区全体の活動としては、春と秋に行う、地区内の道路等の清掃作業である。
	お祭り・お参り (天満神社)	小副川地区では9の小集落からなる。各小集落において、それぞれでお祭りを行っている。互いの交流は薄い。 天満神社は周辺の集落がお祭りの場所として使用されているが、参加者は、地区の役員と老人のみである。お参りをする程度の祭りである。
地域の文化的遺産	天満神社	天満神社は周辺の集落がお祭りの場所として使用されているが、参加者は、地区の役員と老人のみである。お参りをする程度の祭りである。

5.1.2 予測の結果

(1) 予測の手法

予測対象とする思い入れの場・物及び影響要因は、表 5.1-14 に示すとおりであり、影響要因は「土地又は工作物の存在及び供用」の「**改変の程度及び存続の程度**」とした。

表 5.1-14 予測対象とする思い入れの場・物及び影響要因(1/4)

予測対象		影響要因	土地又は工作物の存在及び供用	
			改変の程度	存続の程度
			思い入れの場・物の改変の程度	思い入れの場・物の存続の程度
東 畑 瀬 地区	思い入れの景観	・ 東畑瀬の集落と権現山の風景 ・ 畑瀬橋の東畑瀬側から権現山の風景 ・ 畑瀬橋の西畑瀬側から豊富宮の風景		
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	-		
	人と人との触れ合いの活動の場	・ 秋祭り(豊富宮) ・ カンコロ祭り(豊富宮) ・ 祇園祭り(豊富宮) ・ 交流(豊富宮) ・ 祇園祭り(毘沙門堂) ・ 宴会(東畑瀬公民館)		
	地域の文化的遺産	・ 豊富宮 ・ 毘沙門堂 ・ 白山神社 ・ あなた権現 ・ 天神杉 ・ 神代勝利の墓		
西 畑 瀬 地区	思い入れの景観	・ 西畑瀬代替地から権現山の風景		
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	-		
	人と人との触れ合いの活動の場	・ 初参り・大祭り(畑瀬神社) ・ 交流(西畑瀬公民館) ・ お彼岸、お盆、正月、大祭りの時の清掃作業(八幡神社)		
	地域の文化的遺産	・ 畑瀬神社 ・ 八幡神社 ・ 恵泉寺		

注)1. : 予測対象とする項目を示す。

2. - : 該当する思い入れの場・物がないことを示す。

表 5.1-14 予測対象とする思い入れの場・物及び影響要因(2/4)

予測対象		影響要因	土地又は工作物の存在及び供用	
			<ul style="list-style-type: none"> ・ダム の 堤 体 の 存 在 ・原 石 山 の 跡 地 の 存 在 ・土 捨 場 の 跡 地 の 存 在 ・道 路 の 存 在 ・代 替 地 の 存 在 ・ダム の 供 用 及 び 貯 水 池 の 存 在 	
			改 変 の 程 度	存 続 の 程 度
			思 い 入 れ の 場 ・ 物 の 改 変 の 程 度	思 い 入 れ の 場 ・ 物 の 存 続 の 程 度
栗 並 地 区	思 い 入 れ の 景 観	-		
	思 い 入 れ の 人 と 自 然 と の 触 れ 合 い の 活 動 の 場	・ 子 安 神 社		
	人 と 人 と の 触 れ 合 い の 活 動 の 場	<ul style="list-style-type: none"> ・元 始 祭 り、風 祭 り、丑 の 日 祭 り (子 安 神 社) ・お 祭 り (三 光 寺) ・豊 前 坊 祭 り (豊 前 坊 様) ・夫 婦 石 祭 り (夫 婦 石) ・太 鼓 の 会 		
	地 域 の 文 化 的 遺 産	<ul style="list-style-type: none"> ・子 安 神 社 ・昭 安 橋 ・夫 婦 石 ・三 光 寺 		
大 串 地 区	思 い 入 れ の 景 観	・ 大 串 の 浦 川 橋 か ら の 風 景		
	思 い 入 れ の 人 と 自 然 と の 触 れ 合 い の 活 動 の 場	・ 水 遊 び (大 串 河 川 プール)		
	人 と 人 と の 触 れ 合 い の 活 動 の 場	<ul style="list-style-type: none"> ・交 流 (大 串 公 民 館) ・弁 財 天 祭 り (弁 財 天) ・お 参 り (櫛 田 神 社) ・お 祭 り (大 権 現) ・立 石 祭 り ・七 夕 ・早 馬 様 祭 り (早 馬 様) ・土 曜 学 校、お 正 月 (光 照 寺) 		
	地 域 の 文 化 的 遺 産	<ul style="list-style-type: none"> ・弁 財 天 ・櫛 田 神 社 ・大 権 現 ・早 馬 様 ・光 照 寺 		

注)1. : 予測対象とする項目を示す。

2. - : 該当する思い入れの場・物がないことを示す。

表 5.1-14 予測対象とする思い入れの場・物及び影響要因(3/4)

予測対象			影響要因	
			土地又は工作物の存在及び供用	
			<ul style="list-style-type: none"> ・ダム の 堤体 の 存在 ・原石山 の 跡地 の 存在 ・土捨場 の 跡地 の 存在 ・道路 の 存在 ・代替地 の 存在 ・ダム の 供用 及び 貯水池 の 存在 	
			変更の程度	存続の程度
			思い入れの場・物の変更の程度	思い入れの場・物の存続の程度
大野地区	思い入れの景観	<ul style="list-style-type: none"> ・望郷の丘公園から栗並の風景 ・春日神社からの風景 		
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> ・春日神社 		
	人と人との触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> ・祭り、相撲(春日神社) ・交流(大野公民館) ・青年部会 ・七福神(各戸及び大野公民館) ・交流、清掃作業(望郷の丘公園) ・清掃(金福寺) ・庚申様(春日神社裏の大野地区の祠) ・弁天様祭り(弁財天) 		
	地域の文化的遺産	<ul style="list-style-type: none"> ・春日神社 ・春日神社裏の大野地区の祠 ・弁財天 ・金福寺 		
中原地区	思い入れの景観	<ul style="list-style-type: none"> ・北山小学校からの風景 		
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> ・中原公園 ・神水川の水辺 		
	人と人との触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び(北山小学校) ・三社祭り(春日神社) ・お祭り、参詣、小宴(中原公園) ・18夜の例祭(中原観音) ・お祭り(九郎社) ・薬師さん祭り(薬師様) ・虫供養(正念寺) ・お葬式 		
	地域の文化的遺産	<ul style="list-style-type: none"> ・春日神社 ・弁財天 ・中原観音 ・九郎社 ・薬師様 ・正念寺 		

注)1. : 予測対象とする項目を示す。

2. - : 該当する思い入れの場・物が無いことを示す。

表 5.1-14 予測対象とする思い入れの場・物及び影響要因(4/4)

予測対象		影響要因	土地又は工作物の存在及び供用	
			<ul style="list-style-type: none"> ・ダムの堤体の存在 ・原石山の跡地の存在 ・土捨場の跡地の存在 ・道路の存在 ・代替地の存在 ・ダムの供用及び貯水池の存在 	
			変更の程度	存続の程度
			思い入れの場・物の変更の程度	思い入れの場・物の存続の程度
古湯地区	思い入れの景観	・古湯権現山から古湯温泉街の風景		
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	-		
	人と人との触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> ・古湯映画祭、花火大会(古湯温泉) ・町民体育大会 ・鯉供養 ・御供日 		
	地域の文化的遺産	<ul style="list-style-type: none"> ・北向神社 ・淀姫神社 ・松森神社 		
須田地区	思い入れの景観	-		
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・九州自然歩道		
	人と人との触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭り(天満宮) ・鉦浮立(須田地区の6社の神社) ・お祭り(観音様) 		
	地域の文化的遺産	<ul style="list-style-type: none"> ・天満宮 ・須田地区の6社の神社 ・白鬚神社 ・観音様 		
菖蒲地区	思い入れの景観	-		
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・楠神社前の河川		
	人と人との触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> ・御供日祭り(楠神社) ・建設時の協力(眼鏡橋) ・お祭り(観音様) ・菖蒲ご膳(菖蒲公民館) ・菖蒲夏祭り(菖蒲公民館) ・地区内外との交流(菖蒲公民館) 		
	地域の文化的遺産	<ul style="list-style-type: none"> ・かっちゃん石 ・楠神社 ・眼鏡橋 ・観音様 		

注) 1. : 予測対象とする項目を示す。
 2. - : 該当する思い入れの場・物がないことを示す。

1) 予測の基本的な手法

予測の基本的な手法は、事例の引用又は解析によった。

予測の基本的な手法を表 5.1-15 に示す。

2) 予測地域

調査地域のうち、思い入れの場・物の特性を踏まえて思い入れの場・物に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域とした。

予測地域を表 5.1-15 に示す。

3) 予測対象時期等

思い入れの場・物の特性を踏まえて思い入れの場・物に係る環境影響を的確に把握することができる時期とし、ダム供用後とした。

予測対象時期等を表 5.1-15 に示す。

表 5.1-15 思い入れの場・物の予測の手法

項目		予測の基本的な手法	予測地域	予測対象時期等
影響要因 土地又は 工作物の 存在及び 供用	変更の程度	思い入れの場・物と事業計画を重ね合わせるにより変更の程度を予測した。 思い入れの場・物の特性を踏まえて、その存続の程度を予測した。	調査地域のうち、思い入れの場・物の特性を踏まえて思い入れの場・物に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域とした。	ダム供用後とした。

(2) 予測の結果

表 5.1-16 に示すとおり、思い入れの場・物のうち、「思い入れの景観」、「地域の文化的遺産」といった環境質に該当するものについては、それらの分布状況と事業計画との重ね合わせにより予測を行った。一方、「思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場」、「人と人との触れ合いの活動の場」といった環境質に該当するものについては、活動(行為)の内容、組織等、継続できるか否かを主な判断材料として、その存続の程度の予測を行った。影響予測結果を表 5.1-17 に示し、影響があると予測される思い入れの場・物の影響の内容と概要を表 5.1-18 に、分布状況を図 5.1-3 に示す。なお、思い入れの場・物の概要については、区長ヒアリング調査、小学生アンケート調査の他に、文献調査から把握した情報をもとに記載した。

予測においては、影響検討の開始時期における影響を予測した。そのため、例えば、影響検討の開始時期の時点で、既に移設されている東畑瀬地区の地域の文化的遺産である「豊富宮」に関する予測結果では影響はないとなる。

また、例えば、東畑瀬地区の思い入れの景観である「東畑瀬の集落と権現山の風景」について、本来であれば、東畑瀬地区の集落の家並みが存在している時点の風景で調査、予測を行うべきであるが、影響検討の開始時期の時点で、東畑瀬地区の集落はほとんどが移転しているため、東畑瀬地区の集落の家並みが存在していない状態の風景で調査、予測を行った。

表 5.1-16 思い入れの場・物の特性を考慮した環境質毎の予測手法

思い入れの場・物の特性を考慮した環境質による分類	予測手法
思い入れの景観	思い入れの場・物と事業計画を重ね合わせるにより改変又は消失の程度を予測した。
思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場 人と人との触れ合いの活動の場	思い入れの場・物の活動(行為)の内容、組織等、継続できるか否かを主な判断材料として、その存続の程度を予測した。
地域の文化的遺産	思い入れの場・物と事業計画を重ね合わせるにより改変又は消失の程度を予測した。

表 5.1-17(1) 予測結果

集落	環境質による分類	思い入れの場・物	予測結果
東 畑 瀬 地区	思い入れの景観	・ 東畑瀬の集落と権現山の風景 ・ 畑瀬橋の東畑瀬側から権現山の風景 ・ 畑瀬橋の西畑瀬側から豊富宮の風景	- - -
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場		
	人と人との触れ合いの活動の場	・ 秋祭り(豊富宮) ・ カンコロ祭り(豊富宮) ・ 祇園祭り(豊富宮) ・ 交流(豊富宮) ・ 祇園祭り(毘沙門堂) ・ 宴会(東畑瀬公民館)	-
	地域の文化的遺産	・ 豊富宮 ・ 毘沙門堂 ・ 白山神社 ・ あなた権現 ・ 天神杉 ・ 神代勝利の墓	(移転済み) - - -
西 畑 瀬 地区	思い入れの景観	・ 西畑瀬代替地から権現山の風景	-
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場		
	人と人との触れ合いの活動の場	・ 初参り・大祭り(畑瀬神社) ・ 交流(西畑瀬公民館) ・ お彼岸、お盆、正月、大祭りの時の清掃作業(八幡神社)	-
	地域の文化的遺産	・ 畑瀬神社 ・ 八幡神社 ・ 恵泉寺	- (移転済み) (移転済み)
栗 並 地 区	思い入れの景観		
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・ 子安神社	
	人と人との触れ合いの活動の場	・ 元始祭り、風祭り、丑の日祭り(子安神社) ・ お祭り(三光寺) ・ 豊前坊祭り(豊前坊様) ・ 夫婦石祭り(夫婦石) ・ 太鼓の会	- - -
	地域の文化的遺産	・ 子安神社 ・ 昭安橋 ・ 夫婦石 ・ 三光寺	(移転済み) - -

注)1.()内は、思い入れの場・物が依存する場所又は構造物を示す。

2. - :影響があることを示す。

3. :影響がない又は小さいことを示す。

表 5.1-17(2) 予測結果

集落	環境質による分類	思い入れの場・物	予測結果
大串地区	思い入れの景観	・大串の蒲川橋からの風景	-
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・水遊び(大串河川プール)	
	人と人との触れ合いの活動の場	・交流(大串公民館) ・弁財天祭り(弁財天) ・お参り(櫛田神社) ・お祭り(大権現) ・立石祭り ・七夕 ・早馬様祭り(早馬様) ・土曜学校、お正月(光照寺)	
	地域の文化的遺産	・弁財天 ・櫛田神社 ・大権現 ・早馬様 ・光照寺	
大野地区	思い入れの景観	・望郷の丘公園から栗並の風景 ・春日神社からの風景	
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・春日神社	
	人と人との触れ合いの活動の場	・祭り、相撲(春日神社) ・交流(大野公民館) ・青年部会 ・七福神(各戸及び大野公民館) ・交流、清掃作業(望郷の丘公園) ・清掃(金福寺) ・庚甲様(春日神社裏の大野地区の祠) ・弁天様祭り(弁財天)	
	地域の文化的遺産	・春日神社 ・春日神社裏の大野地区の祠 ・弁財天 ・金福寺	
中原地区	思い入れの景観	・北山小学校からの風景	-
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・中原公園 ・神水川の水辺	
	人と人との触れ合いの活動の場	・遊び(北山小学校) ・三社祭り(春日神社) ・お祭り、参詣、小宴(中原公園) ・18夜の例祭(中原観音) ・お祭り(九郎社) ・薬師さん祭り(薬師様) ・虫供養(正念寺) ・冠婚葬祭	
	地域の文化的遺産	・春日神社 ・弁財天 ・中原観音 ・九郎社 ・薬師様 ・正念寺	

注)1.()内は、思い入れの場・物が依存する場所又は構造物を示す。

2. - :影響があることを示す。

3. :影響がない又は小さいことを示す。

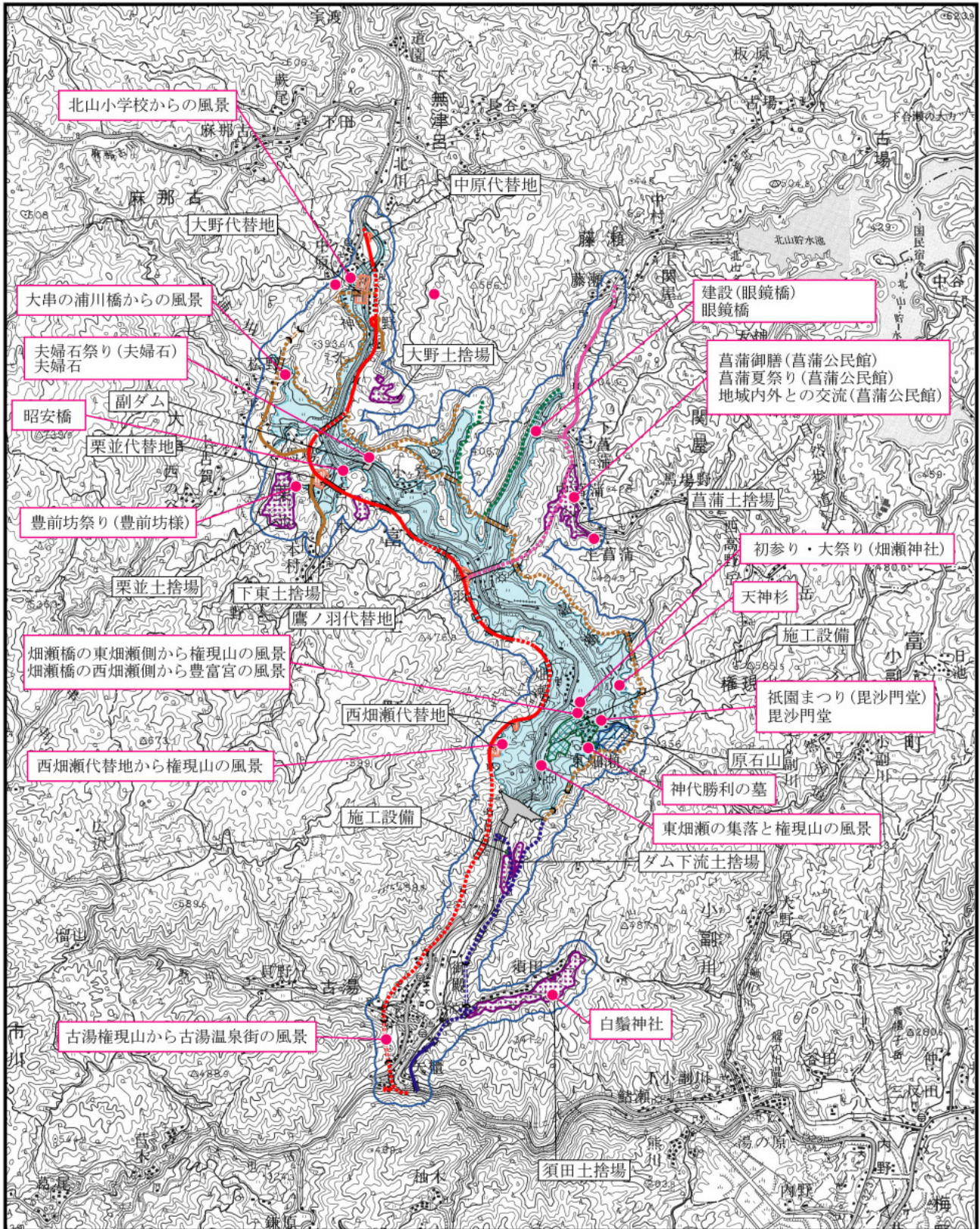
表 5.1-17(3) 予測結果

集落	環境質による分類	思い入れの場・物	予測結果
古湯地区	思い入れの景観	・古湯権現山から古湯温泉街の風景	-
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場		
	人と人との触れ合いの活動の場	・古湯映画祭、花火大会(古湯温泉) ・町民体育大会 ・鯉供養 ・御供日	
	地域の文化的遺産	・北向神社 ・淀姫神社 ・松森神社	
須田地区	思い入れの景観		
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・九州自然歩道	
	人と人との触れ合いの活動の場	・お祭り(天満宮) ・鉦浮立(須田地区の6社の神社) ・お祭り(観音様)	
	地域の文化的遺産	・天満宮 ・須田地区の6社の神社 ・白鬚神社 ・観音様	-
菖蒲地区	思い入れの景観		
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・楠神社前の河川	
	人と人との触れ合いの活動の場	・御供日祭り(楠神社) ・建設時の協力(眼鏡橋) ・お祭り(観音様) ・菖蒲ご膳(菖蒲公民館) ・菖蒲夏祭り(菖蒲公民館) ・地区内外との交流(菖蒲公民館)	- - - -
	地域の文化的遺産	・かっちゃん石 ・楠神社 ・眼鏡橋 ・観音様	-

注)1.()内は、思い入れの場・物が依存する場所又は構造物を示す。

2. - : 影響があることを示す。

3. : 影響がない又は小さいことを示す。



凡 例

- | | | | | | |
|--|----------|--|-------------|--|------|
| | ダム堤体 | | 付替国道 | | トンネル |
| | 副ダム | | 付替国道 (未完成) | | 橋 |
| | 貯水予定区域 | | 付替県道 | | |
| | 原石山 | | 付替県道 (未完成) | | |
| | 土捨場 | | 付替町道 | | |
| | 代替地 | | 付替町道 (未完成) | | |
| | 施工設備 | | 付替林道 | | |
| | 対象事業実施区域 | | 付替林道 (未完成) | | |
| | | | 工事用道路 | | |
| | | | 工事用道路 (未完成) | | |



1 : 50,000

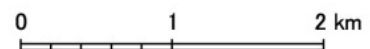


図5.1-3
影響があると予測された思い
入れの場・物の分布状況